

FACTBOOK 2026



事業別データ集

2026年8月発行



目次

01 “K” LINE at a Glance

- 2 財務ハイライト
- 3 財務データ
- 5 業績
- 6 主要コンテナ船会社
収支実績比較

02 事業別情報

- 7 セグメント概要
- 8 セグメント別情報
- 9 世界海上荷動き・輸送キャパシティデータ
- 10 グループ運航船舶と新造船価の推移
- 11 鉄鋼原料事業／バルクキャリア事業
- 14 LNG船事業、原油・LPG事業、
電力事業、CCS事業、洋上風力
関連事業
- 17 自動車船事業
- 20 コンテナ船事業

03 会社概要／株式情報

- 25 会社概要／株式情報

FACTBOOKについて

川崎汽船(“K” LINE)グループは、世界の海上輸送ニーズに適応したさまざまなタイプの船隊を保有・運航し、陸上輸送や倉庫事業も展開する総合物流企業グループです。

川崎汽船の財務情報と非財務情報を統合し、事業戦略に加えて、環境、社会、ガバナンスに関する情報を含めることで全てのステークホルダーの皆さまに企業価値向上に向けた当社の全体像を包括的に示すことを目的として、「“K” LINE REPORT」を発行しています。

「FACTBOOK」は、「“K” LINE REPORT」を補完する資料として、主として事業・財務・業界関連データを集約し、投資家・アナリストをはじめとする幅広いステークホルダーの皆さまに、当事業および当社を取り巻く事業環境への理解を深めていただくための情報発信およびコミュニケーションツールと位置づけて発行しています。

01. “K” LINE at a Glance | 財務ハイライト

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		(百万円)										
業績 (会計年度)	売上高	1,243,932	1,030,191	1,162,025	836,731	735,284	625,486	756,983	942,606	957,939	1,047,944	1,018,364
	営業利益	9,427	△46,037	7,219	△24,736	6,840	△21,286	17,663	78,857	84,154	102,855	84,164
	経常利益	3,338	△52,388	1,962	△48,933	7,407	89,498	657,504	690,839	132,728	308,089	109,100
	親会社株主に帰属する当期純利益	△51,499	△139,478	10,384	△111,188	5,269	108,695	642,424	694,904	101,989	305,384	132,986
財政状態 (会計年度末)	総資産	1,115,223	1,045,209	1,036,886	951,261	896,081	974,608	1,574,960	2,052,616	2,109,432	2,210,049	2,343,989
	純資産	379,913	245,482	243,094	181,233	200,234	316,162	984,882	1,546,679	1,624,600	1,677,449	1,841,988
	自己資本	355,375	219,484	217,010	103,576	101,095	218,193	884,634	1,515,399	1,591,925	1,648,434	1,802,703
	有利子負債	525,152	550,512	570,584	550,211	543,451	507,005	423,455	351,692	287,782	344,861	296,049
	設備投資額	116,592	68,048	101,105	97,911	81,148	45,332	43,442	71,827	85,398	133,441	90,670
	減価償却費	48,302	47,421	43,410	40,789	44,253	43,869	42,821	42,396	44,550	49,137	52,379
	営業活動によるキャッシュ・フロー	39,635	△43,919	1,167	△6,808	△21,797	33,397	226,460	456,049	202,449	273,173	264,772
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,569	△24,881	△22,813	△35,493	△20,286	16,987	△5,848	△46,745	△66,332	△126,133	△ 35,109
	フリー・キャッシュ・フロー	10,066	△68,800	△21,646	△42,301	△42,083	50,384	220,612	409,304	136,117	147,040	229,663
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,835	26,436	22,239	19,290	16,731	△34,845	△116,001	△300,790	△223,182	△211,646	△ 124,753
1株当たりの 情報	当期純利益(EPS) (円)	△61	△165	12	△132	6	129	765	857	141	460	210
	純資産(BPS) (円)	421	260	259	123	120	260	1,054	2,043	2,252	2,610	2,852
	配当金 (円)	6	—	—	—	—	—	67	133	83	100	120
	配当性向 (%)	—	—	—	—	—	—	8.7	15.6	58.9	21.7	57.0
経営指標	売上高経常利益率 (%)	0.3	△5.1	0.2	△5.8	1.0	14.3	86.9	73.3	13.9	29.4	10.7
	売上高当期純利益率 (%)	△4.1	△13.5	0.9	△13.3	0.7	17.4	84.9	73.7	10.6	29.1	13.1
	自己資本当期純利益率(ROE) (%)	△12.9	△48.5	4.8	△69.4	5.1	68.1	116.5	57.9	6.6	18.8	7.7
	総資産経常利益率(ROA) (%)	0.3	△4.8	0.2	△4.9	0.8	9.6	51.6	38.1	6.4	14.3	4.8
	負債資本比率(DER) (倍)	1.48	2.51	2.63	5.31	5.38	2.32	0.48	0.23	0.18	0.21	0.16
	自己資本比率 (%)	31.9	21.0	20.9	10.9	11.3	22.4	56.2	73.8	75.5	74.6	76.9
	総資産回転率(回)	1.12	0.99	1.12	0.88	0.82	0.64	0.48	0.46	0.45	0.47	0.43
	EBITDA	24,678	△77,180	67,567	△50,293	65,745	167,779	712,219	745,269	185,005	376,449	192,852
	EV／EBITDA(倍)	21.51	△8.70	9.55	△10.40	7.72	3.66	1.30	1.01	7.83	3.78	8.53
	株価収益率(PER) (倍)	—	—	22.44	—	14.37	2.18	1.16	1.18	14.31	4.40	12.54
	株価純資産倍率(PBR) (倍)	0.57	1.26	1.07	1.07	0.75	1.08	0.85	0.49	0.90	0.78	0.93
	株主総利回り(TSR) (%)	—	—	—	—	—	—	340.04	428.99	818.81	854.49	1,115.61
	比較指標：配当込みTOPIX (%)	—	—	—	—	—	—	101.99	107.92	152.53	150.17	202.20
期中平均値	為替(円／USドル)	121	109	111	111	109	106	112	135	144	153	150
	燃料油価格(USドル／トン)	295	265	349	450	467	363	551	769	620	610	528

* 百万円未満を切り捨てています。

* 2017年10月1日付の株式併合（普通株式10株につき1株の割合）と2022年10月1日付及び2024年4月1日付の株式分割（普通株式1株につき3株の割合）を考慮し調整しています。（1円未満四捨五入）

* 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を2018年度の期首から適用しており、2017年度に係る総資産および総資産経常利益率は当該会計基準等を遡って適用し、算定しています。

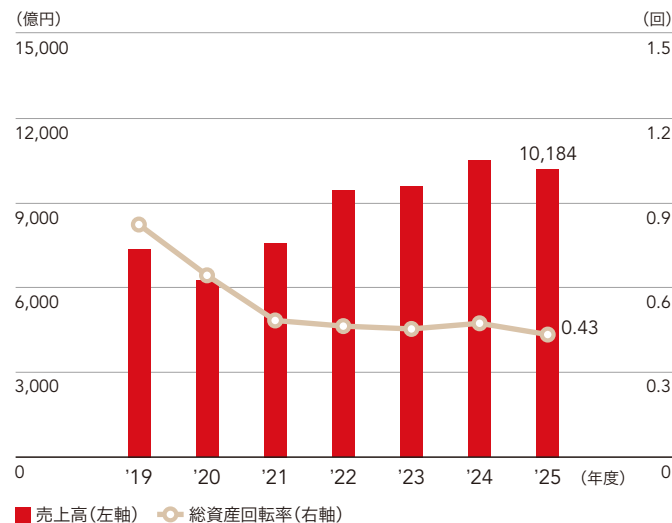
* 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 令和2年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。）等を2021年度の期首から適用しています。収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取り扱いに従っています。

* 2024年度の期首より、在外子会社等の収益及び費用は、決算日の直物為替相場により円貨に換算する方法から、期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しています。2023年度の関連する主要な経営指標等につきまして、遡及適用後の数値を記載しています。

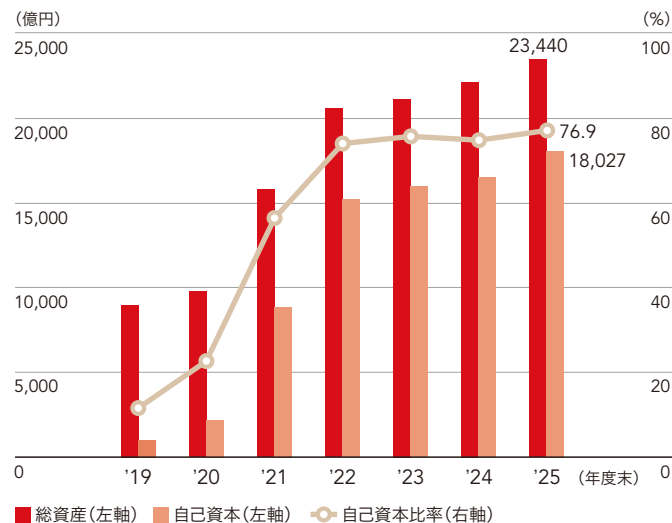
なお、2022年度以前に係る累積的影響額については、2023年度の期首の純資産額に反映させています。

01. "K" LINE at a Glance | 財務データ

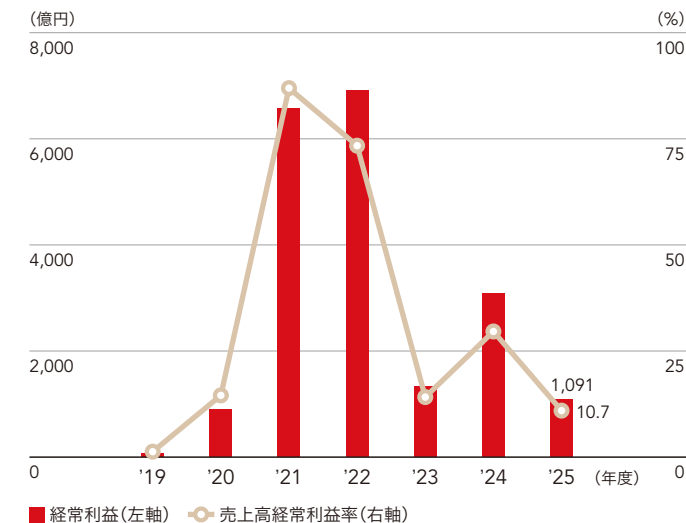
売上高、総資産回転率



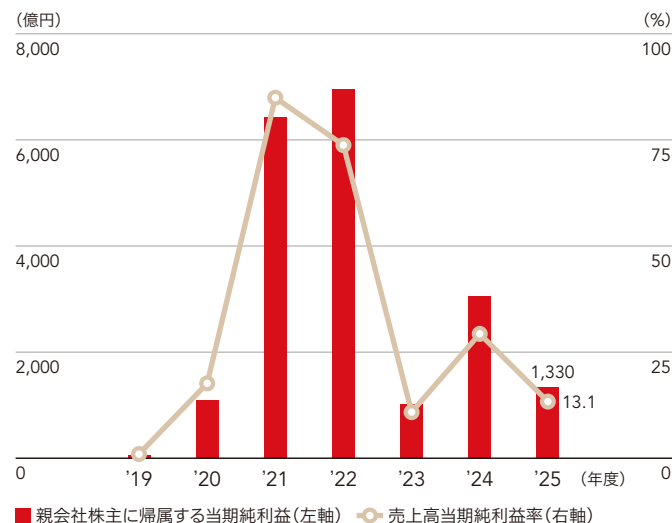
総資産、自己資本、自己資本比率



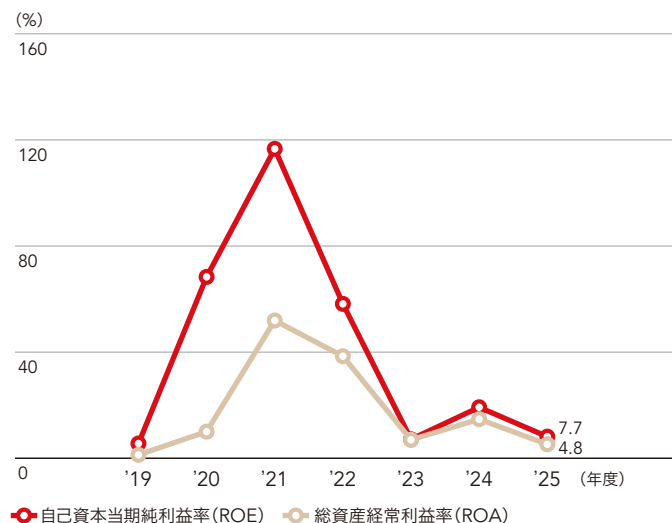
経常利益、売上高経常利益率



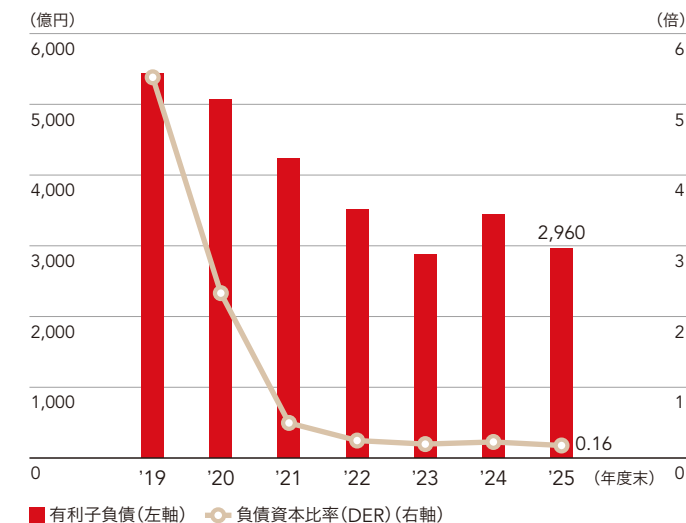
親会社株主に帰属する当期純利益、売上高当期純利益率



自己資本当期純利益率(ROE)、総資産経常利益率(ROA)

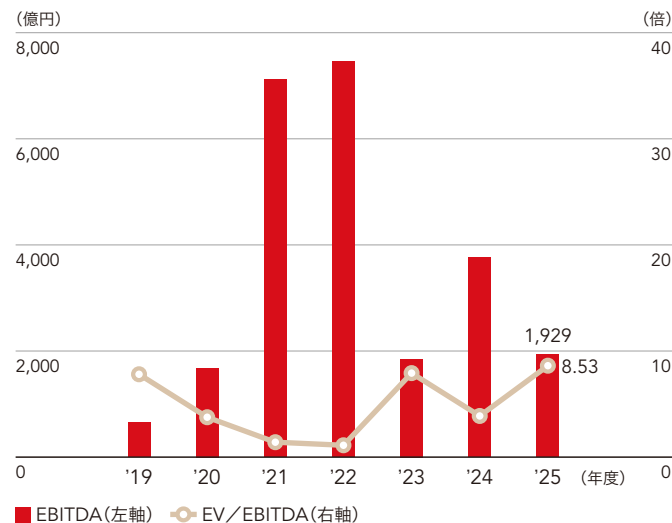


有利子負債、負債資本比率(DER)

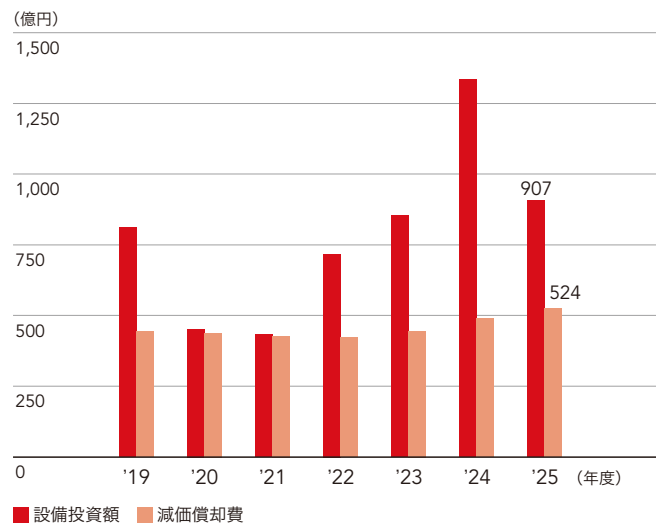


01. "K" LINE at a Glance | 財務データ

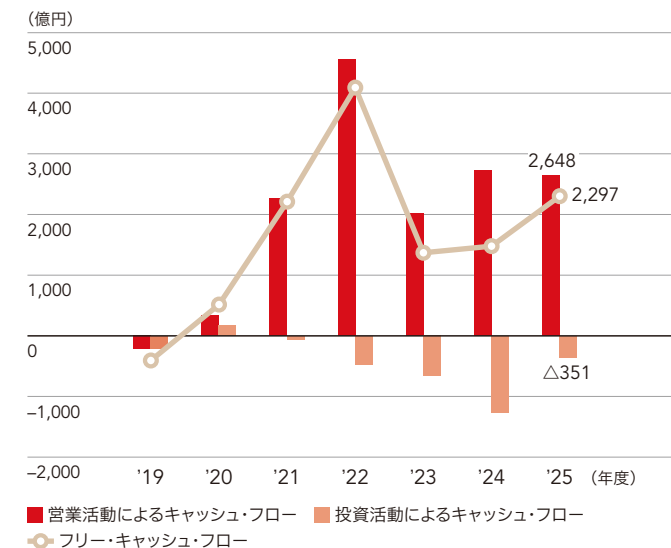
EBITDA、EV／EBITDA



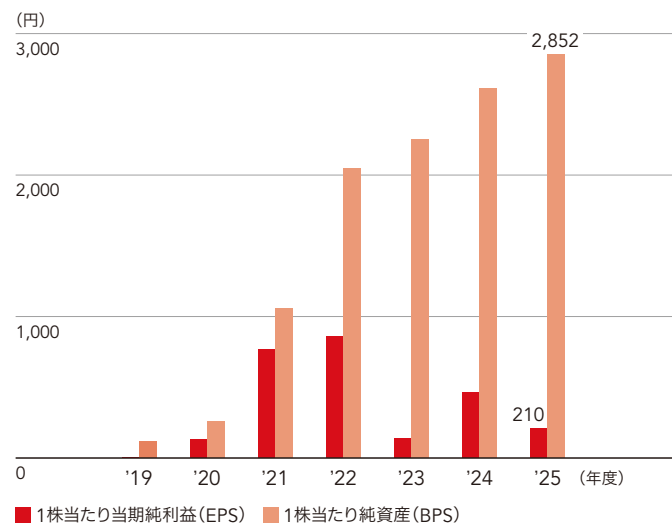
設備投資額、減価償却費



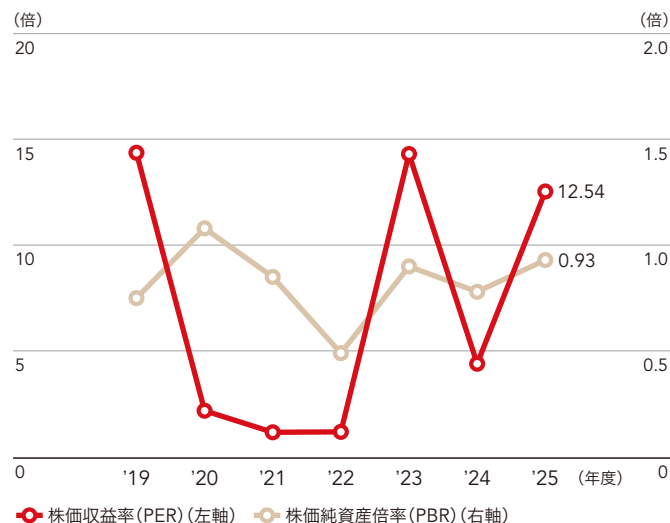
キャッシュ・フロー



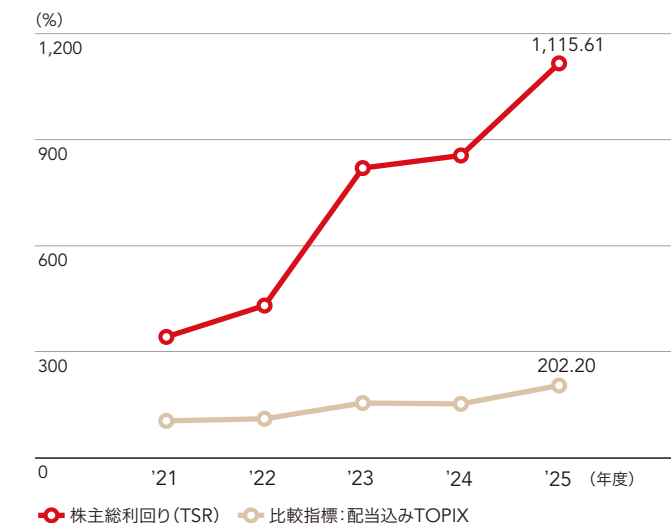
1株当たり当期純利益(EPS)、1株当たり純資産(BPS)



株価収益率(PER)、株価純資産倍率(PBR)



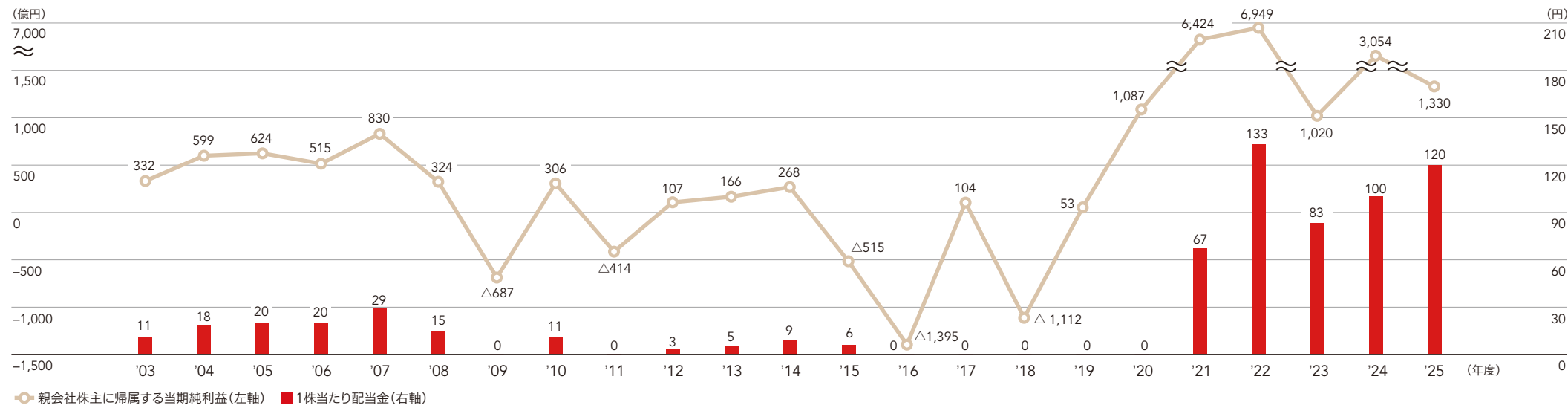
株主総利回り(TSR)



* 2022年10月1日付及び2024年4月1日付の株式分割(普通株式1株につき3株の割合)を考慮し調整しています。(1円未満四捨五入)

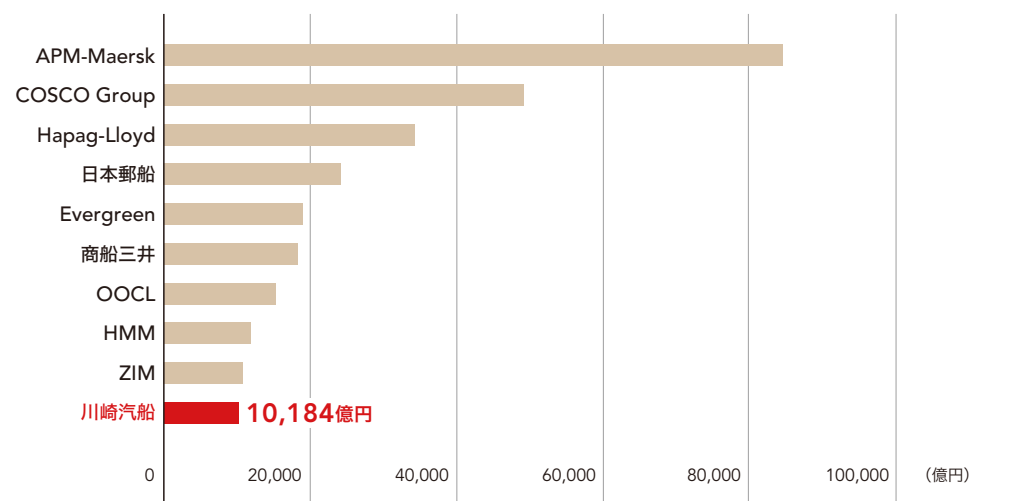
01. "K" LINE at a Glance | 業績

親会社株主に帰属する当期純利益と1株当たり配当金の推移



* 2017年10月1日付の株式併合(普通株式10株につき1株の割合)と2022年10月1日付及び2024年4月1日付の株式分割(普通株式1株につき3株の割合)を考慮し調整しています。(1円未満四捨五入)

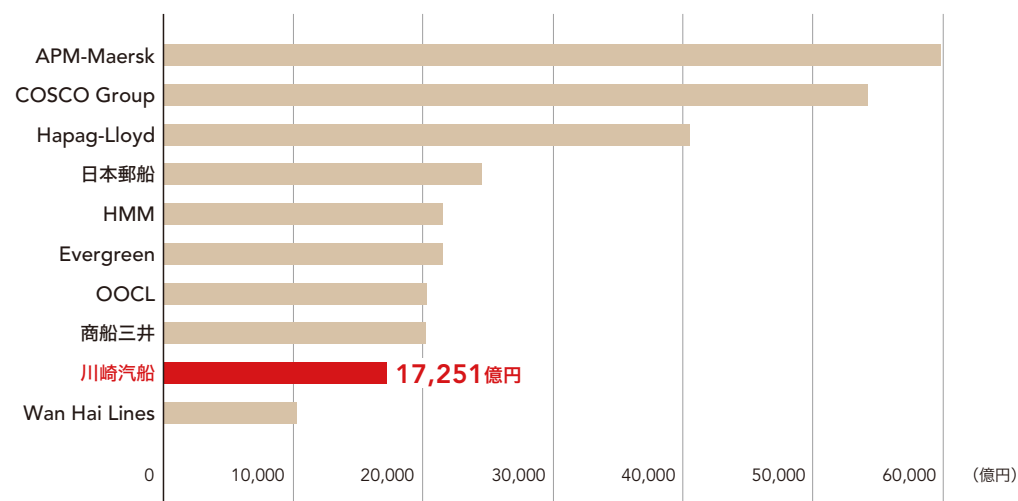
世界の上場海運会社 売上ランキング(2025年度)



出典：LSEG Workspace

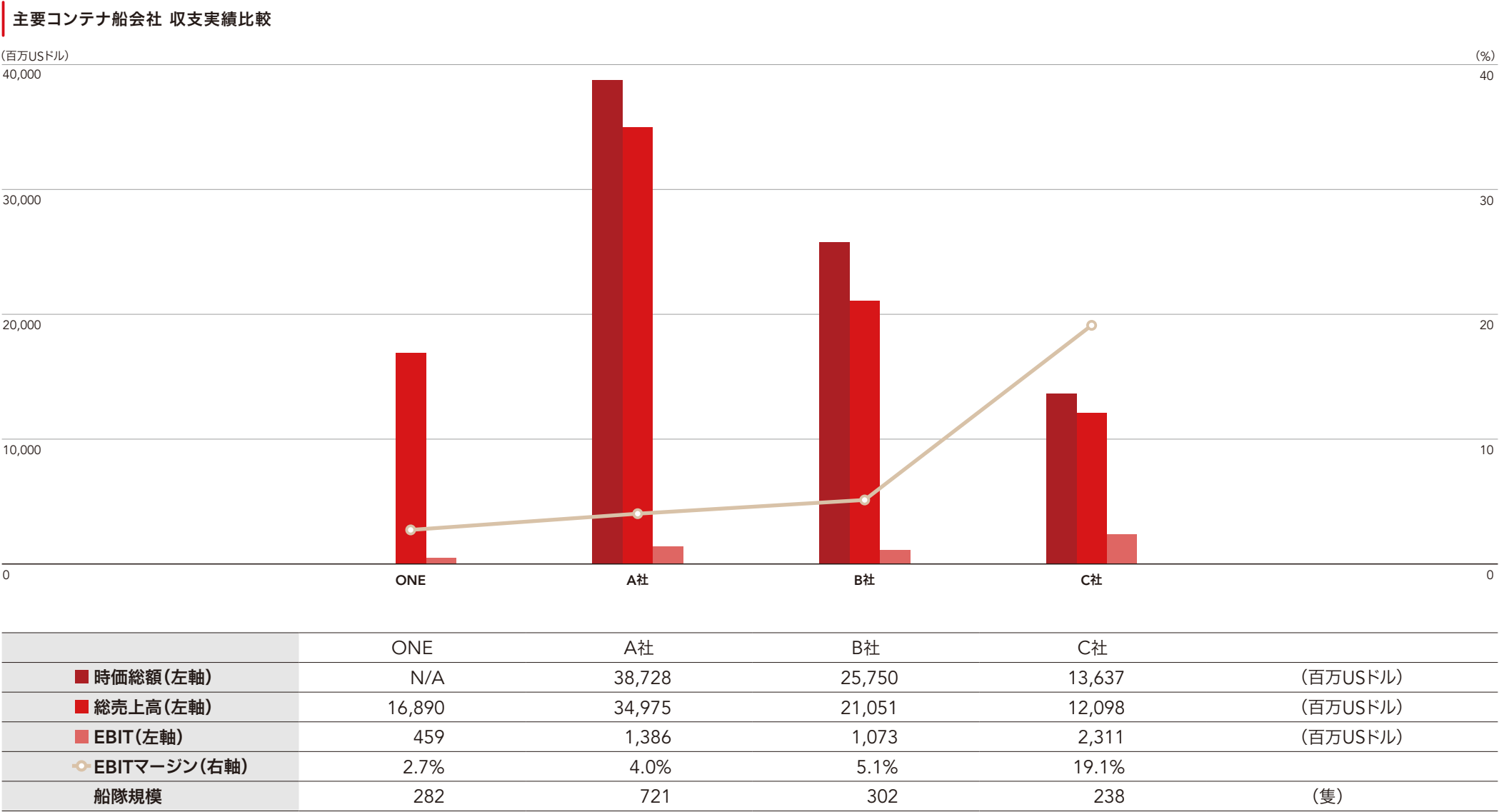
世界の上場海運会社 時価総額ランキング

(2026年7月末時点)



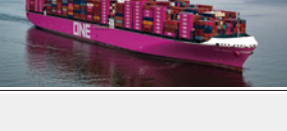
出典：Speeda

01. “K” LINE at a Glance | 主要コンテナ船会社 収支実績比較



* 公開情報をもとに当社作成
* 時価総額：2026年7月末時点
* 総売上高、EBIT：2025年暦年
* 船隊規模：2026年3月末時点
* A社についてはOceanセグメントのみ集計

02. 事業別情報 | セグメント概要

セグメント	事業	事業概要
ドライバルク	鉄鋼原料事業／バルクキャリア事業	 鉄鋼原料（鉄鉱石、原料炭）、ボーキサイト、鉄鋼製品（鋼材）、製紙原料（木材チップ）、穀物、石炭などの大量の乾貨物をばら積み（バルク）輸送する事業です。日本向けの輸送に加え、韓国、中国、インドや中東地域のほか、大西洋水域での三国間輸送も積極的に展開し、事業領域の拡大を進めています。ドライバルク事業ユニットでは風力利用やバイオ・LNG・メタノール・アンモニア燃料など低・脱炭素化に挑戦しています。
	LNG船事業	 LNG船事業では、脱炭素社会への移行を支える重要なエネルギーであるLNG（液化天然ガス）の輸送サービスをグローバルに展開しています。長年培った専門知識とネットワークを活かし、長期安定契約を基盤とした安全・高品質な輸送サービスを提供するとともに、LNGバリューチェーン全体におけるお客様の多様なニーズに応えています。
	原油・LPG事業	 原油・LPG事業では、原油やLPGの海上輸送を担う国内外の備船者向けにグローバルな船主事業を展開しています。また、ブラジル沖ではドリルシップやFPSO、ガーナ沖ではFPSOが稼働し海洋エネルギー開発にも参画しています。さらに、アンモニアなど今後需要拡大が期待される次世代エネルギーの輸送にも取り組み、脱炭素社会の実現に向けた新たな輸送需要の取り込みを進めています。
	電力事業	 主に国内電力会社の石炭火力発電所で使用する燃料用石炭をオーストラリアやインドネシアから輸送しています。発電用石炭輸送用に当社が独自に開発した幅広ばら積み船は石炭輸送のスタンダード船型となり、当社が有する幅広船隊「コロナシリーズ」により、電力会社の石炭輸送ニーズに安全かつ柔軟に対応するサービスを提供しています。
エネルギー資源	CCS事業／洋上風力関連事業	 ネットゼロ実現に向けた現実解の一つとして注目されるCCS。そのサプライチェーンの中で、当社は液化CO₂の海上輸送を提供しており、世界初の本格的なCCS向け液化CO₂商業輸送に積極的に参画しています。洋上風力発電支援船事業では、洋上風力発電の建設や維持に不可欠な各種の作業船・輸送船・地質調査船など、将来の環境負荷低減に貢献する事業に取り組んでいます。
	自動車船事業	 1970年に日本初の自動車専用船を開発・運航開始以来、高品質な輸送サービスをグローバルに展開しています。また、多様化する輸送ニーズにあわせてHigh & Heavy（建設機械、農機、鉄道車両などの背高重量貨物）の輸送強化も図っています。2020年度より投入しているLNG燃料自動車専用船は現在14隻と年々拡大しており、環境負荷低減の顧客ニーズへの対応を推進しています。
	物流・港湾事業	 "K" LINEグループ各社のノウハウとサービスネットワークを結集し、海上貨物輸送に加え航空貨物輸送、曳船、陸上輸送、倉庫事業、完成車の保管／プロセシング／輸送サービスを提供する完成車物流等、お客さまのさまざまなニーズに応える総合物流事業を展開しています。また、国内4港（東京、横浜、大阪、神戸）で自動車船ターミナルやコンテナターミナルを運営しています。
	近海・内航事業	 川崎近海汽船株式会社では、鋼材やバイオマス発電所向け燃料輸送をはじめとするアジア発着の近海船、国内モーダルシフトを推進するRORO船やフェリー、鉄鋼向け石灰石専用船や電力向け石炭専用船などの内航船を運航しています。また、オフショア支援船事業は、今後の海洋開発の拡大に伴う需要増を好機と捉え、事業の着実な発展を図ります。
製品物流	コンテナ船事業	 コンテナ船事業は2018年4月以降、邦船3社で設立したOcean Network Express（ONE）に統合されました。2026年3月末時点で223万TEU・282隻のコンテナ船隊を運航し、世界120ヶ国以上をカバーする充実したサービスネットワークを通じて信頼性が高く迅速な国際輸送サービスを提供しています。
	その他	燃料事業、船舶管理業、旅行代理店業、不動産賃貸・管理業などを営んでいます。

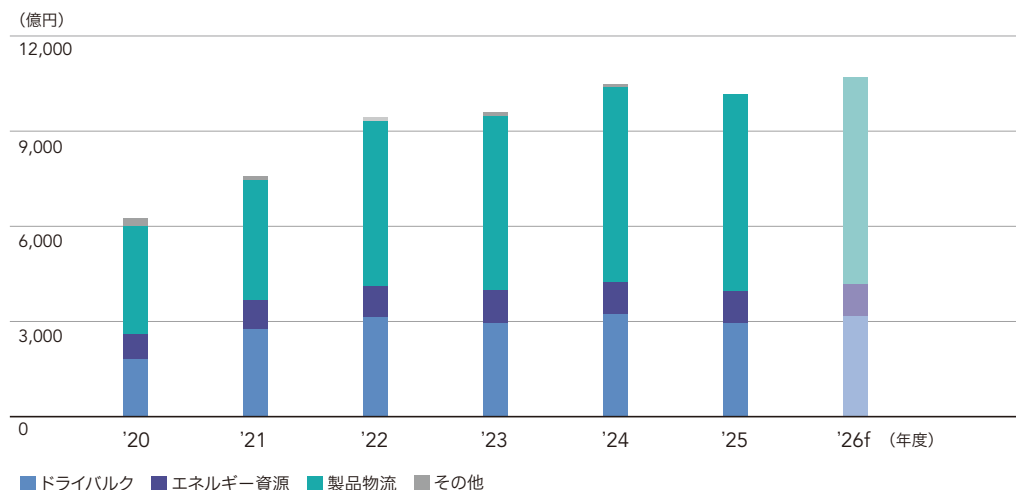
主な船型	主要貨物
ケーブサイズ	鉄鉱石、原料炭、ボーキサイト
バナマックス	一般炭、鉄鉱石、穀物、塩、ニッケル、鋼材、アルミナなど
ハンディマックス	
スモールハンディ	
チップ	木材チップなど

主な船型	従事する輸送
LNG船	液化天然ガス
LNG燃料供給船	船舶用LNG燃料
液化CO ₂ 船	液化CO ₂
電力炭船	一般炭（発電用石炭）など
原油タンカー／VLCC	原油
原油タンカー／AFRAMAX	
LPG船	液化石油ガス（プロパン・ブタン）
ドリルシップ	浮体式海洋掘削装置
FPSO	浮体式石油・ガス生産貯蔵積出設備
地質調査船	海洋地質調査

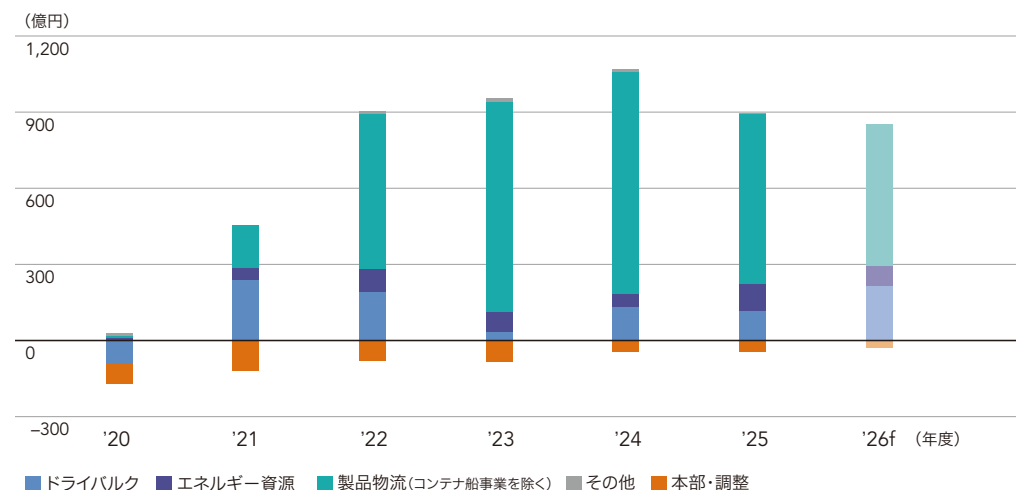
主な船型	主要貨物
自動車船	一般車両（乗用車など）、大型車両（バス・トラックなど）、重車両・建設機械・農業機械、非自走貨物など
近海・内航船 RORO船	原料炭、石灰石、鋼材、バイオマス発電燃料、紙製品、業務用食品、建設資材など
コンテナ船	日用品など一般消費財、部品など工業製品、精密機器、加工済み食品、製材済みの木材、原材料素材などドライカーゴ、冷凍食品など

02. 事業別情報 | セグメント別情報

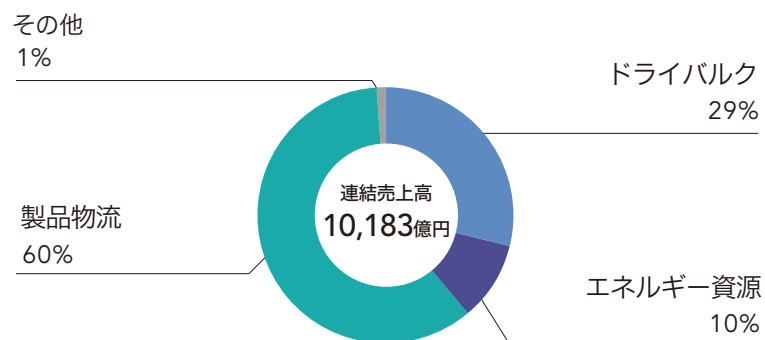
セグメント別 売上高



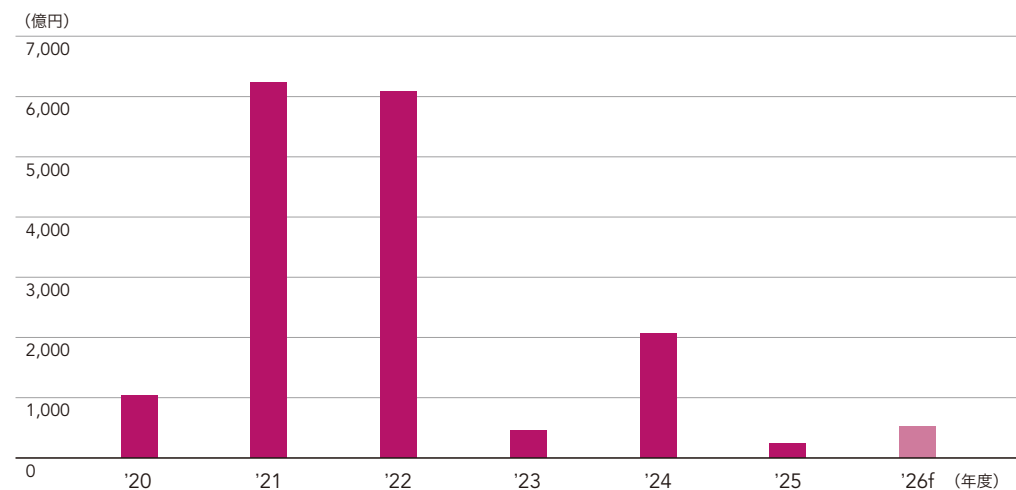
セグメント別 経常損益(自営事業)



セグメント別 売上高構成比(2025年度)



コンテナ船事業 経常損益

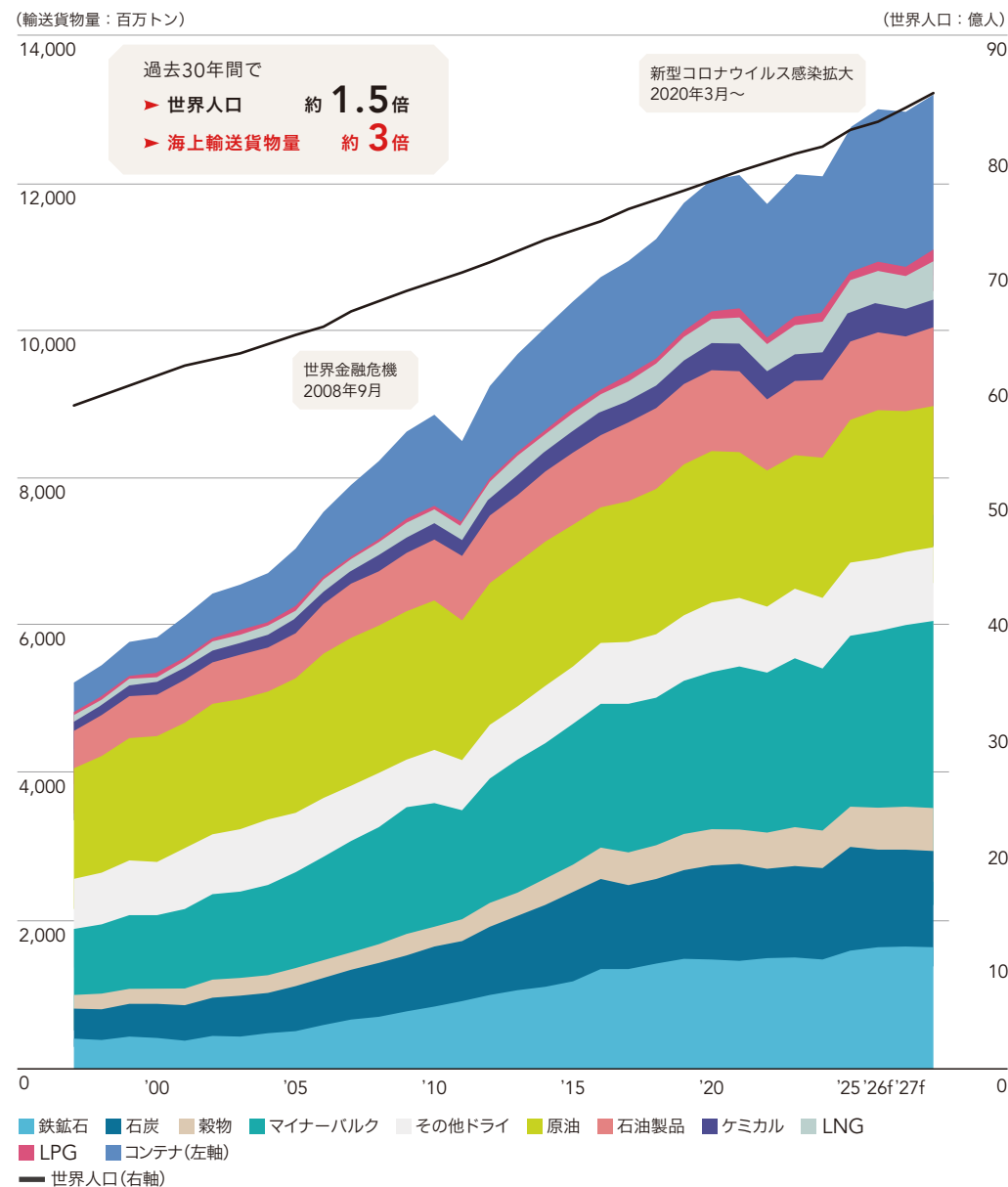


* セグメント別売上高、セグメント別経常損益(自営事業)、コンテナ船事業経常損益について次の通り

- ・ 2026年度予想は2026年8月時点
- ・ 2023年度に一般管理費等の配賦方法を変更しており、2022年度から遡って当該方法を適用している
- ・ 2024年度に在外子会社等の収益及び費用の換算方法を変更しており、2023年度から遡って当該方法を適用している
- ・ 2025年度に為替差損益の配賦手法を変更しており、2024年度から遡って当該方法を適用している

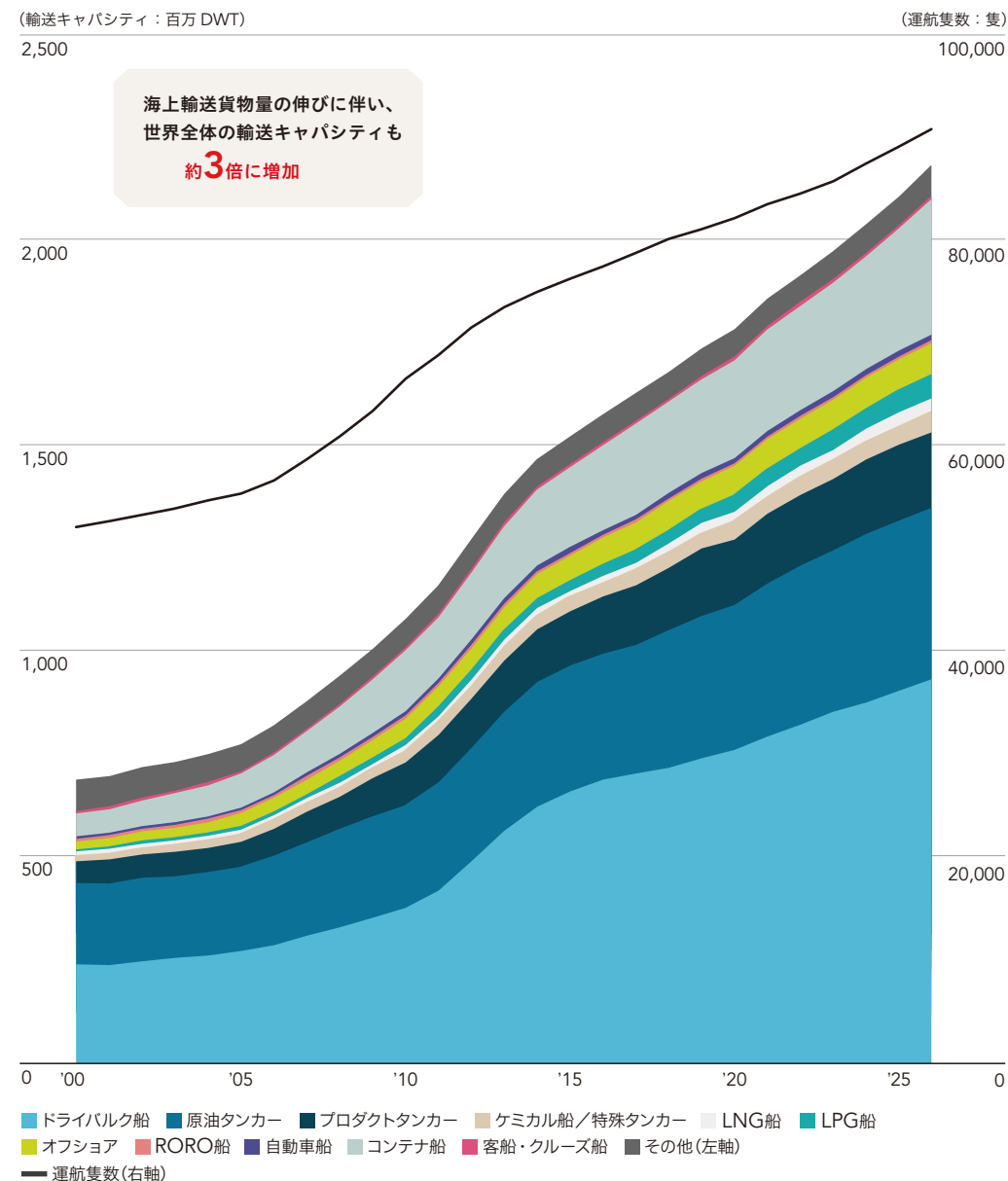
02. 事業別情報 | 世界海上荷動き・輸送キャパシティデータ

世界の主要海上輸送貨物量と世界人口



Clarksonsおよび総務省データベース他をもとに当社作成

世界全体の輸送キャパシティと運航隻数

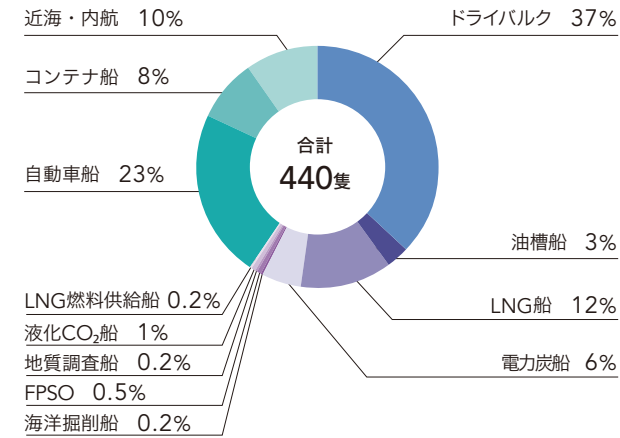


Clarksonsをもとに当社作成

02. 事業別情報 | グループ運航船舶と新造船価の推移

グループ船隊構成

(2026年3月末時点)



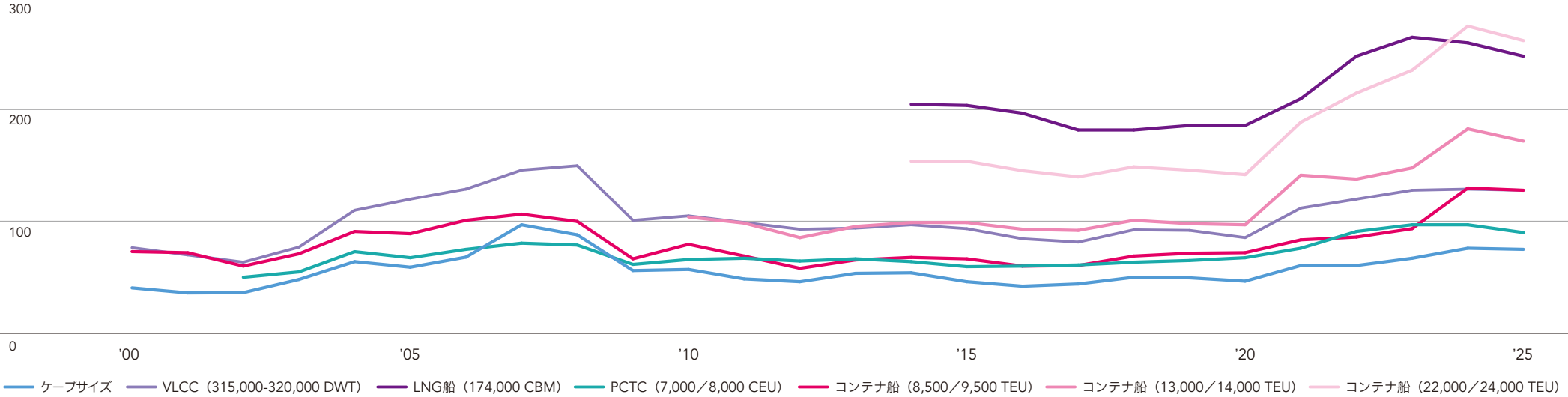
グループ運航船舶推移

船種	2024年3月末時点						2025年3月末時点						2026年3月末時点					
	所有船		備船		合計		所有船		備船		合計		所有船		備船		合計	
	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン
ドライバルク	52	6,284,338	140	17,388,141	192	23,672,479	53	6,548,336	125	15,777,149	178	22,325,485	47	6,118,592	116	13,932,874	163	20,051,466
油槽船	11	2,228,808	2	108,320	13	2,337,128	11	2,228,599	2	108,320	13	2,336,919	11	2,228,599	2	108,320	13	2,336,919
LNG船	44	3,636,087	2	153,909	46	3,789,996	44	3,636,087	2	153,909	46	3,789,996	51	4,287,382	2	153,950	53	4,441,332
電力炭船	9	791,371	16	1,450,522	25	2,241,893	9	791,718	15	1,361,678	24	2,153,396	9	791,718	17	1,524,715	26	2,316,433
海洋掘削船	1	—	0	—	1	—	1	—	0	—	1	—	1	—	0	—	1	—
FPSO	1	—	0	—	1	—	2	—	0	—	2	—	2	—	0	—	2	—
地質調査船	0	—	0	—	0	—	1	3,587	0	—	1	3,587	1	3,587	0	—	1	3,587
液化CO ₂ 船	0	—	0	—	0	—	2	20,359	0	—	2	20,359	3	30,541	0	—	3	30,541
LNG燃料供給船	1	2,431	0	—	1	2,431	1	2,431	0	—	1	2,431	1	2,431	0	—	1	2,431
自動車船	32	456,088	59	1,071,990	91	1,528,078	42	634,637	56	1,033,038	98	1,667,675	46	711,893	53	981,465	99	1,693,358
コンテナ船	11	849,856	30	2,970,195	41	3,820,051	13	1,143,606	26	2,478,747	39	3,622,353	11	1,050,785	25	2,405,835	36	3,456,620
近海・内航	23	178,484	19	167,300	42	345,784	28	310,135	15	131,591	43	441,726	28	310,135	14	118,715	42	428,850
合計	185	14,427,463	268	23,310,377	453	37,737,840	207	15,319,495	241	21,044,432	448	36,363,927	211	15,535,663	229	19,225,874	440	34,761,537

* 所有船の隻数は共有船を含み、重量トン数は共有船の当該船舶における他社持分を含む
* 基幹船隊に加え、期末時点の短期・スポット備船を含んだ隻数

新造船価の推移

(百万USドル)



* コンテナ船については、2023年まではConventional Fuel、2024年からはLNG Dual Fuel

出典: Clarksons

02. 事業別情報 | 鉄鋼原料事業／バルクキャリア事業

ドライバルク(全船型) 所有船隊ランキング

(2026年6月時点)

ランキング	会社名	重量 (10万トン)	隻数
1	China COSCO Shipping	347.3	295
2	日本郵船	216.7	191
3	CMB	178.1	109
4	Star Bulk Carriers	135.3	135
5	Berge Bulk	134.1	71
6	Pan Ocean	122.7	81
7	商船三井	122.1	120
8	China Merchants	121.8	102
9	Winning Intl	114.1	59
10	China Dev Bank (CDB)	113.0	130
12	川崎汽船	110.0	91

* 一部備船を含む

出典：Clarksonsをもとに当社作成

ケープサイズ 所有船隊ランキング

(2026年6月時点)

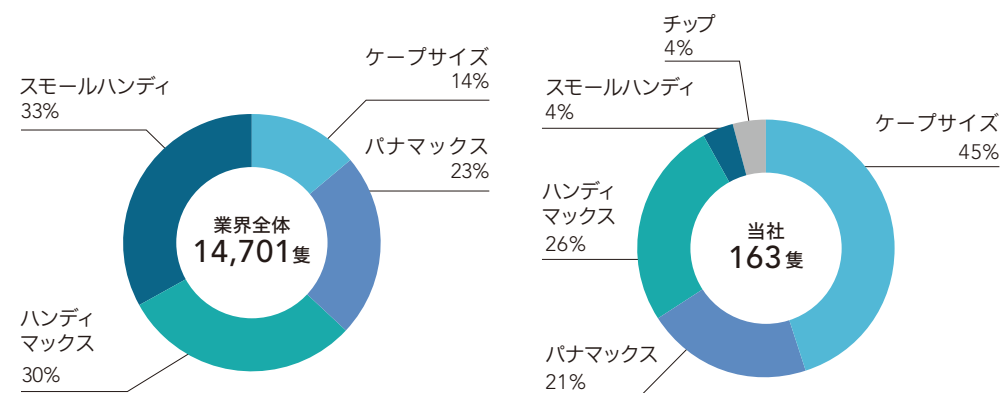
ランキング	会社名	重量 (10万トン)	隻数
1	China COSCO Shipping	227.8	91
2	CMB	153.5	79
3	日本郵船	136.7	63
4	Berge Bulk	129.5	59
5	Winning Intl	114.1	59
6	ICBC	104.3	31
7	Pan Ocean	95.4	38
8	China Merchants	82.8	29
9	H-Line Shipping	75.0	36
10	Angelicoussis Group	74.5	40
11	川崎汽船	69.7	35

* 一部備船を含む

出典：Clarksonsをもとに当社作成

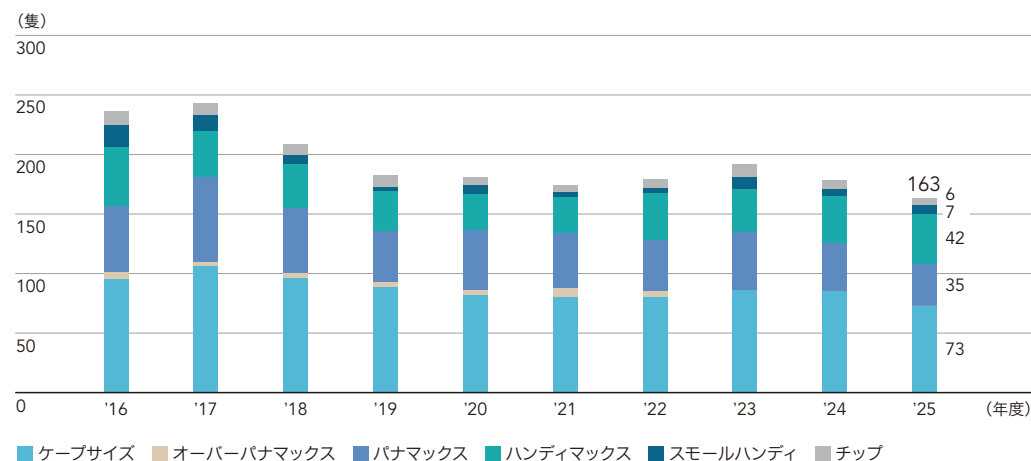
ドライバルク 船隊構成

(2026年3月時点)



出典：Clarksons

当社ドライバルク サイズ別船隊推移

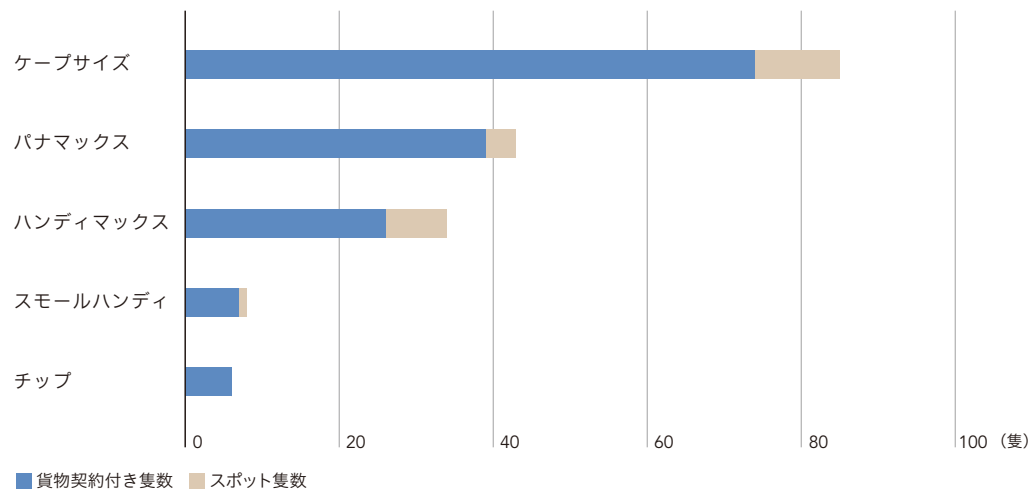


* 2023年度以降のオーバーパナマックスの隻数については、ケープサイズに含む

02. 事業別情報 | 鉄鋼原料事業／バルクキャリア事業

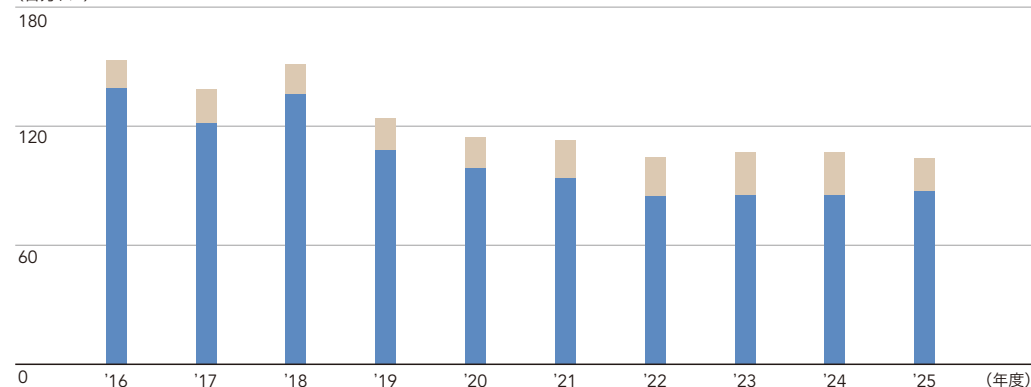
当社ドライバルク 船型別 貨物契約カバー割合

(2026年8月時点)



当社のドライバルク輸送量推移

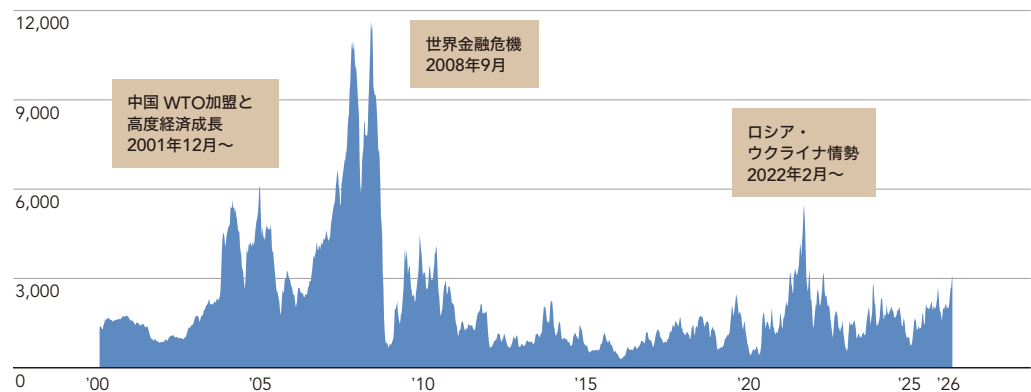
(百万トン)



■ 三大メジャーバルク (鉄鉱石、石炭、穀物) ■ マイナーバルク (鋼材、ポーキサイト、ニッケル、塩など)

* 2017年度以降、電力事業による輸送量は集計対象外

ドライバルク 運賃指数 (BDI: Baltic Dry Index)



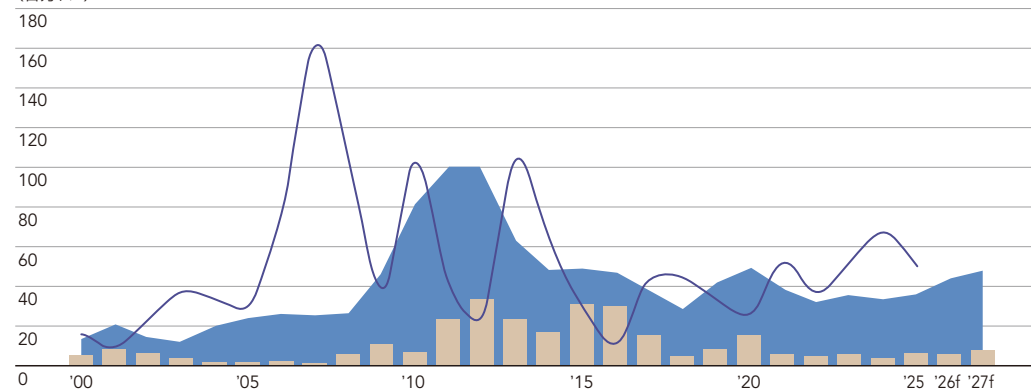
* BDI: 1985年1月4日を基準 (1,000) とした値

出典: Clarksons

ドライバルク 船腹供給量推移

(2026年6月時点)

(百万トン)

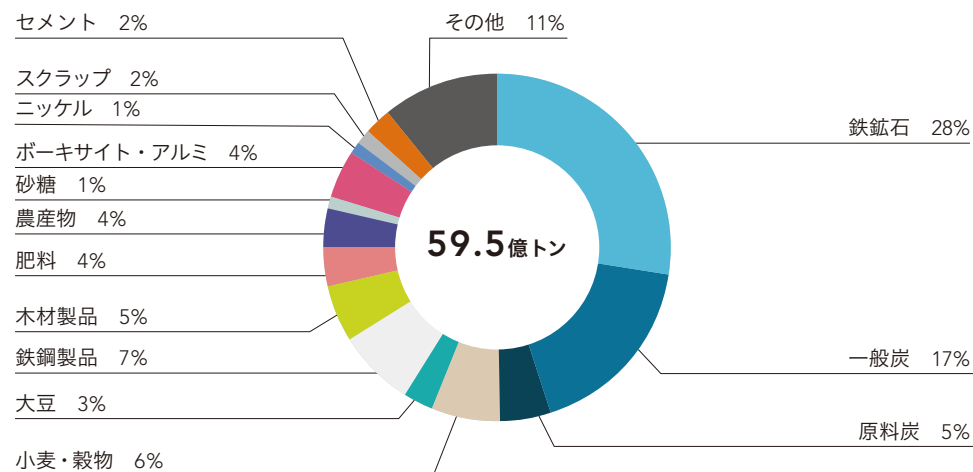


■ 竣工 ■ スクラップ (解撤量) — 建造発注

出典: Clarksons

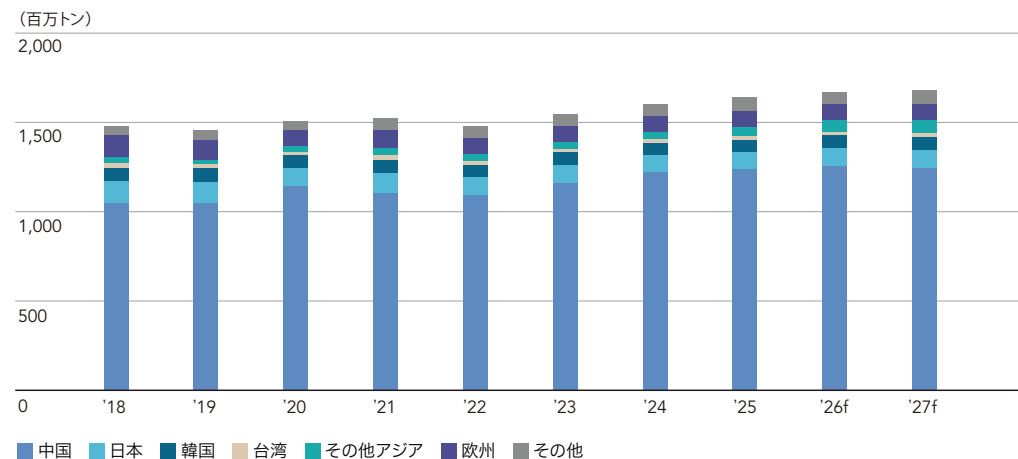
02. 事業別情報 | 鉄鋼原料事業／バルクキャリア事業

世界ドライバルク 海上輸送品目別内訳(重量ベース、2025年)



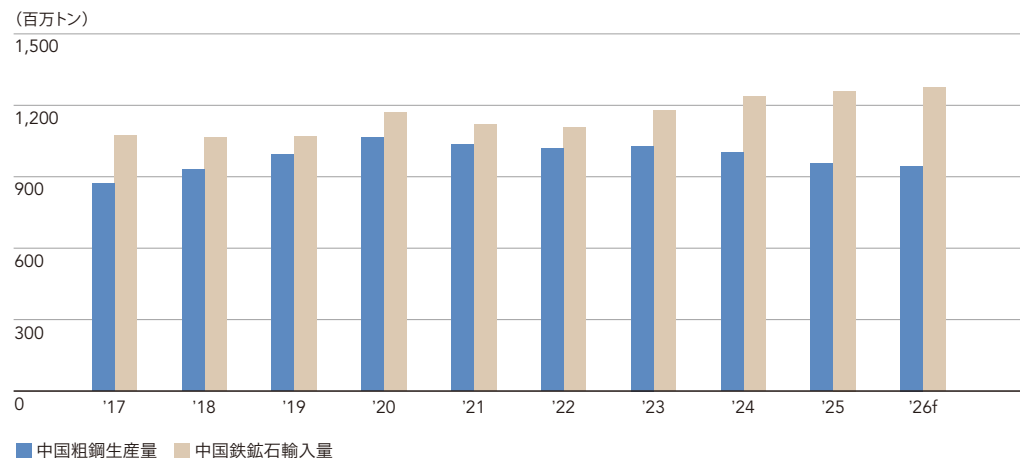
世界主要国 鉄鉱石輸入量推移

(2026年5月時点)



中国 粗鋼生産量・鉄鉱石輸入量推移

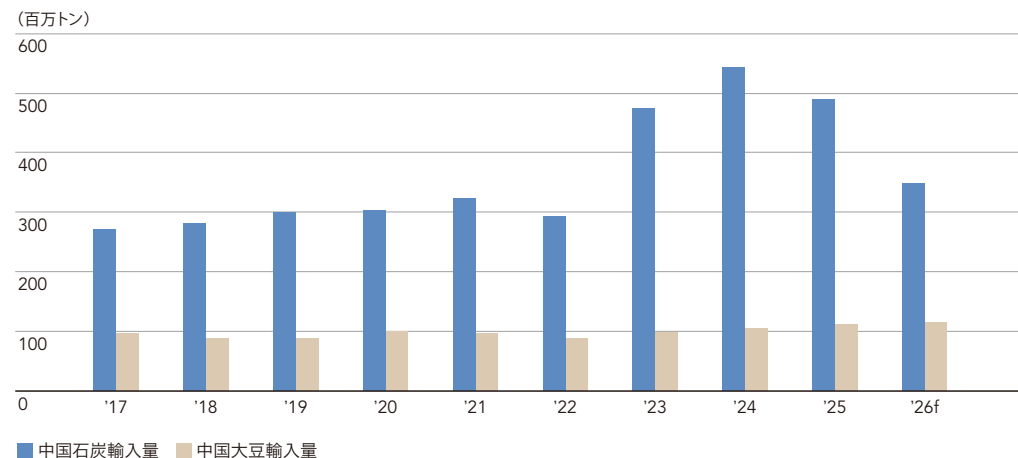
(2026年5月時点)



中国国家统计局、中華人民共和国海関総署およびClarksonsをもとに当社作成

中国 石炭・大豆輸入量推移

(2026年5月時点)



中華人民共和国海関総署およびClarksonsをもとに当社作成

02. 事業別情報 | LNG船事業、原油・LPG事業、電力事業、CCS事業、洋上風力関連事業

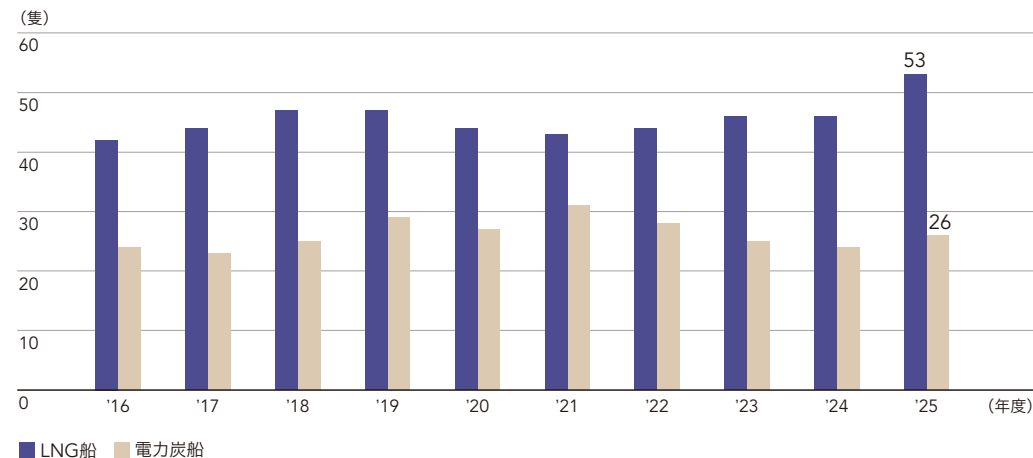
LNG船社ランキング

(2026年3月時点)

ランキング	会社名	隻数
1	商船三井	103
2	日本郵船	96
3	Nakilat	69
4	川崎汽船	53
5	Maran Gas	52
6	Sea Peak	42
7	Knutsen	37
8	Gaslog	35
9	MISC	31
10	China LNG Shipping	30

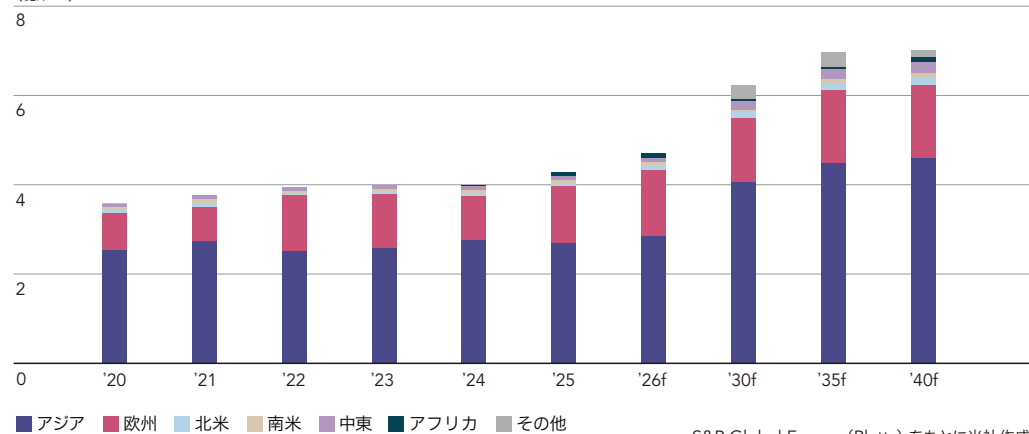
当社作成

当社LNG船・電力炭船隻数推移(共有船含む)



LNG需要推移

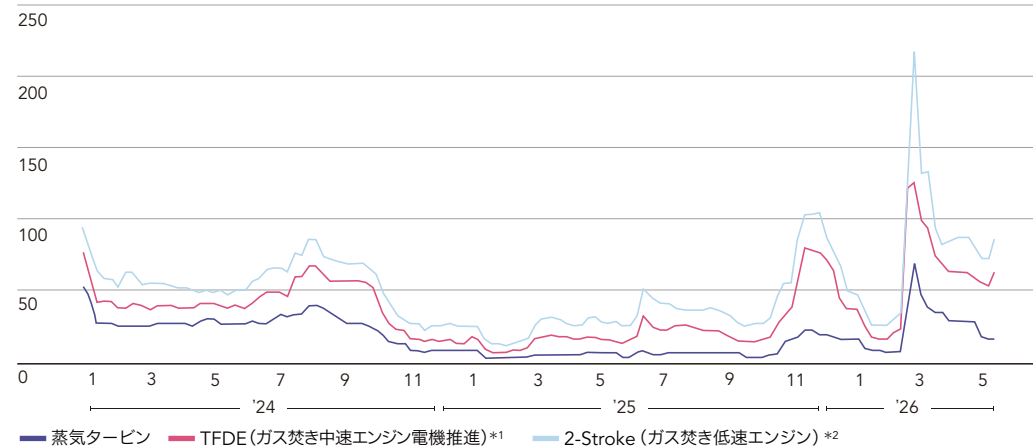
(億トン)



S&P Global Energy (Platts) をもとに当社作成

LNG船 傭船料推移

(千USD/日)



*1 ガス、軽油、重油の3種を燃料とする中速4ストロークエンジンにより発電した電気を用いて、モーターにより推進力を得る推進プラント
 *2 ガス、軽油、重油を燃料とする低速2ストロークエンジンから推進力を得る推進プラント

出典：SSY

02. 事業別情報 | LNG船事業、原油・LPG事業、電力事業、CCS事業、洋上風力関連事業

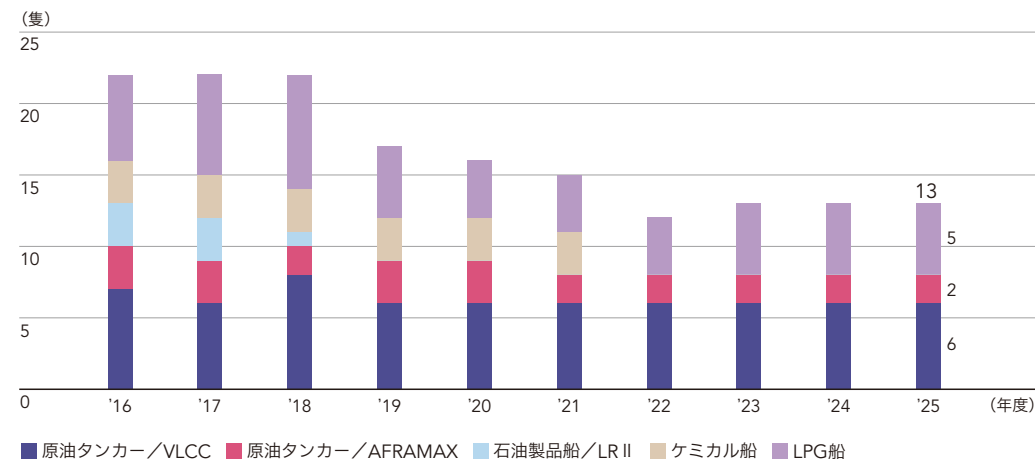
VLCC 所有船隊ランキング

(2026年6月時点)

ランキング	会社名	重量 (10万トン)	隻数
1	Sinokor Merchant	274.4	90
2	China Merchants	157.6	51
3	Bahri	152.0	49
4	China COSCO Shipping	125.9	41
5	Nat Iranian Tanker	117.6	38
6	Fredriksen Group	105.4	35
7	Angelicoussis Group	105.0	33
8	商船三井	77.0	25
9	DHT Holdings	71.6	23
10	Hahn & Company	53.1	17
25	川崎汽船	18.4	6

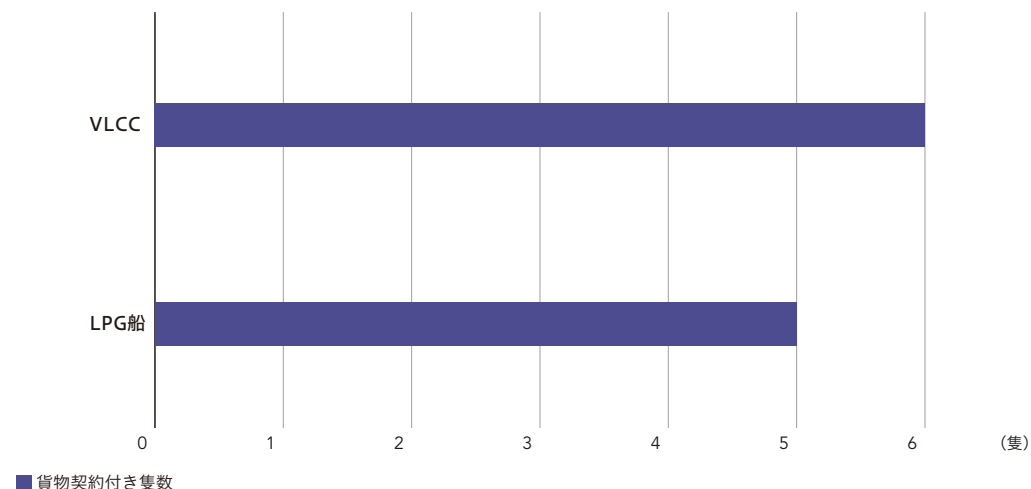
出典：Clarksons

当社油槽船(タンカー) 船種別船隊推移

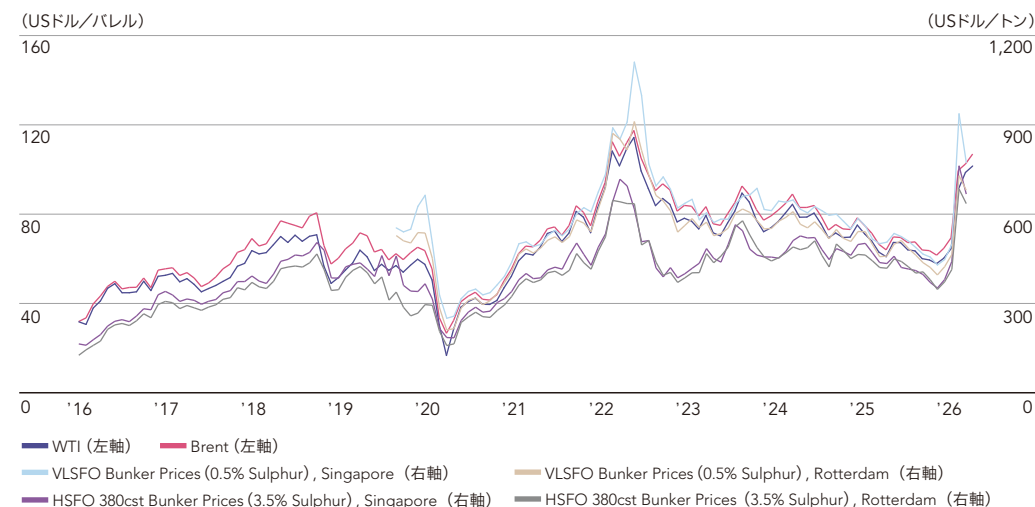


当社油槽船 船型別 貨物契約カバー割合

(2026年7月時点)



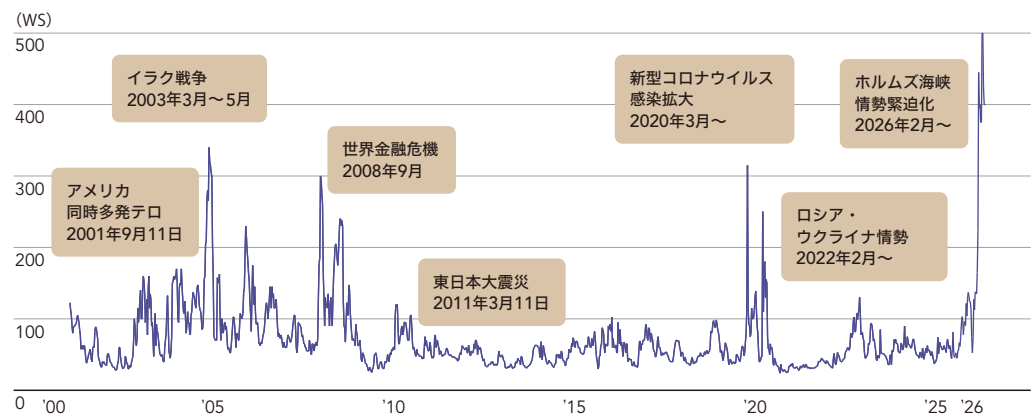
原油・燃料油価格推移



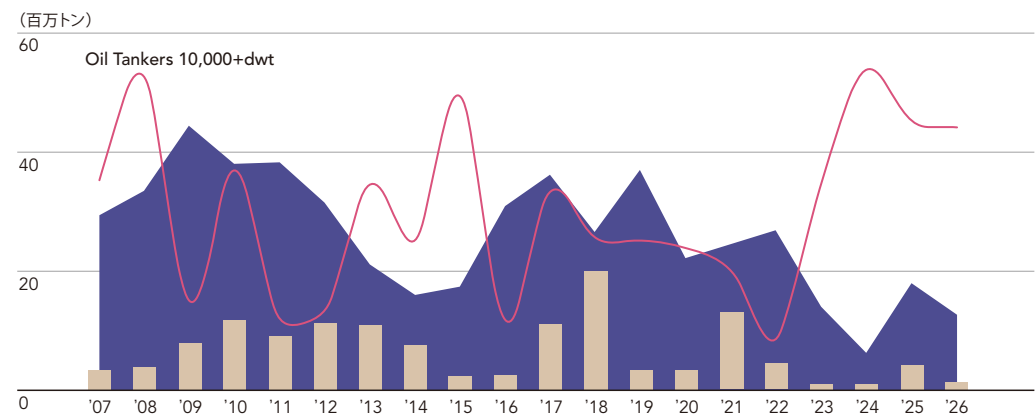
ClarksonsおよびLSEG Workspaceをもとに当社作成

02. 事業別情報 | LNG船事業、原油・LPG事業、電力事業、CCS事業、洋上風力関連事業

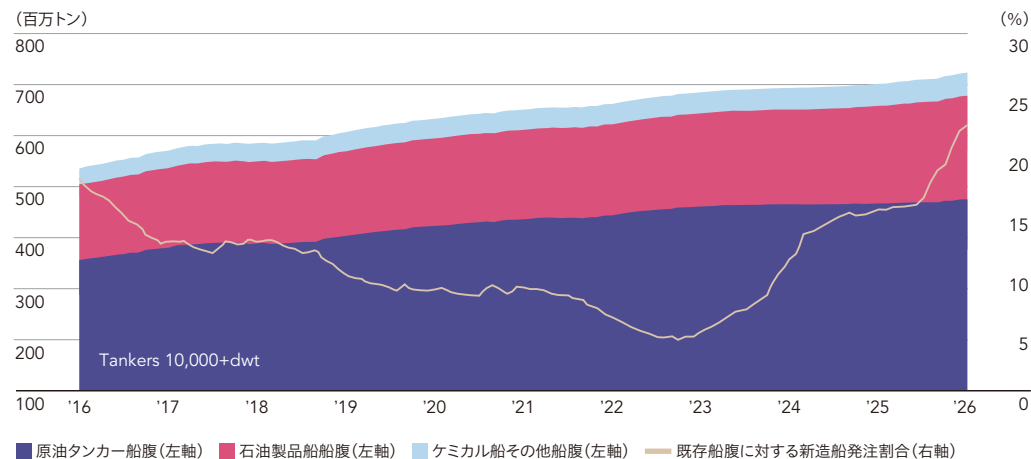
タンカー 運賃指数 (WS:ワールドスケール) 推移



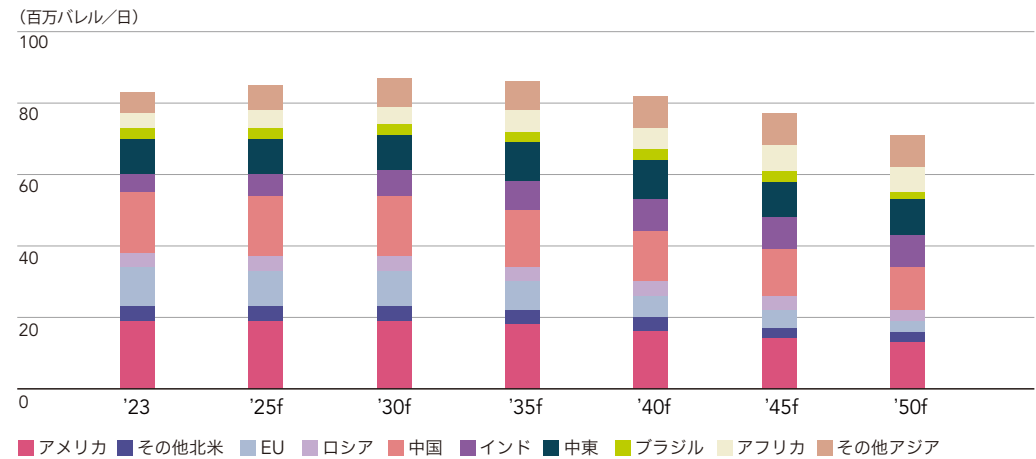
タンカー 船腹供給量推移



タンカー 船腹量および新造船発注割合推移



国別石油需要予測



02. 事業別情報 | 自動車船事業

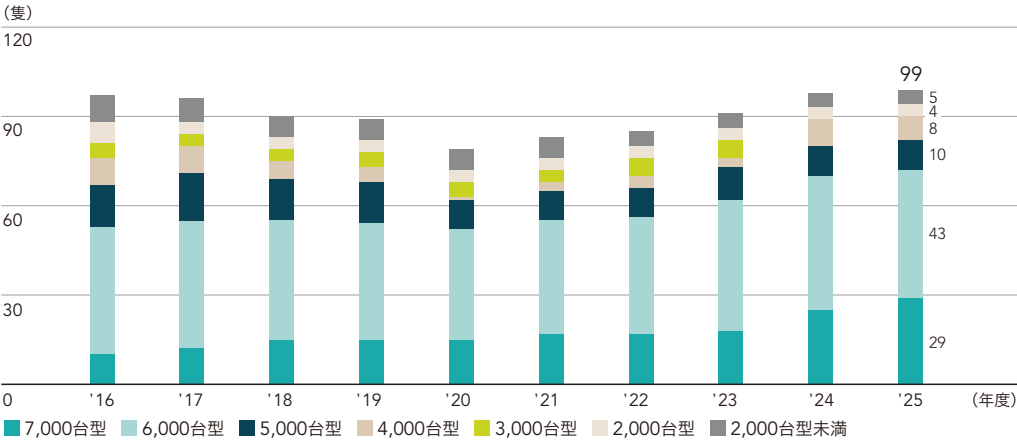
自動車船 船社ランキング

(2026年5月時点)

ランキング	会社名	隻数	隻数シェア	キャパシティ	キャパシティシェア
1	WWO AS	116	14.0%	796,421	15.4%
2	日本郵船	115	13.9%	716,166	13.9%
3	商船三井	102	12.3%	620,909	12.0%
4	川崎汽船	90	10.8%	559,475	10.8%
5	GLOVIS	83	10.0%	563,940	10.9%
6	GRIMALDI	70	8.4%	391,253	7.6%
7	HOEGH	43	5.2%	316,265	6.1%
8	COSCO	30	3.6%	196,267	3.8%
9	ANJI	22	2.7%	150,450	2.9%
10	NEPTUNE	17	2.0%	69,990	1.4%
	その他	142	17.1%	786,238	15.2%
	合計	830	100%	5,167,374	100%

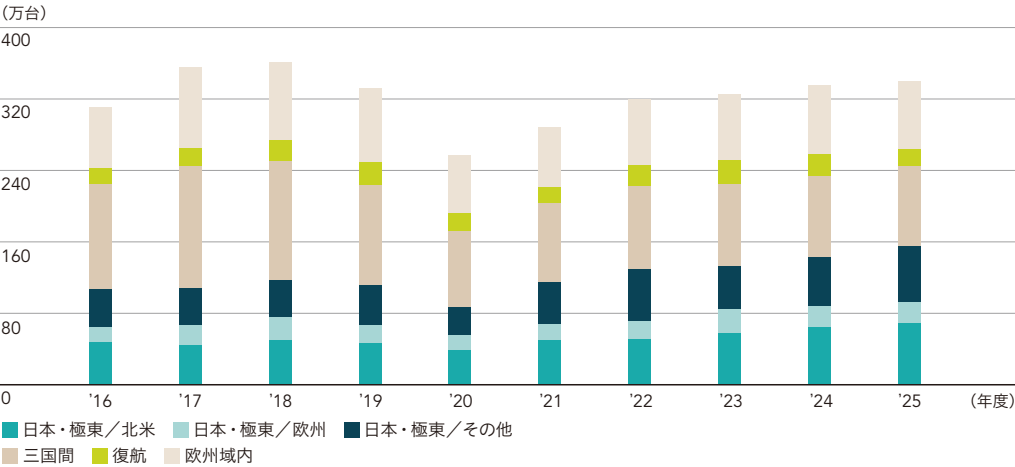
Hesnes Shipping "AS Year Report"をもとに当社作成

当社自動車船 サイズ別船隊推移



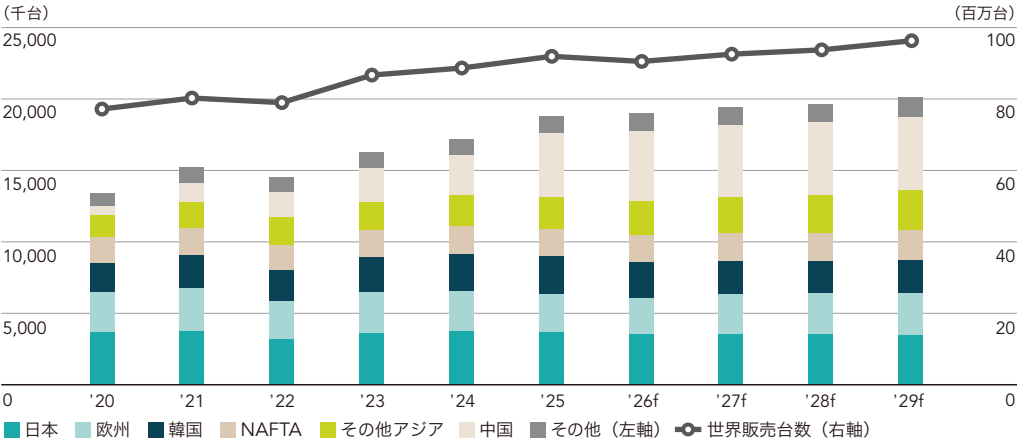
* 短期備船、およびグループ会社運航船を含む
* 2024年度末、2025年度末ともに一部船舶の船型区分を変更

当社自動車輸送台数推移



自動車世界海上荷動き推移 (業界全体仕出し地別)

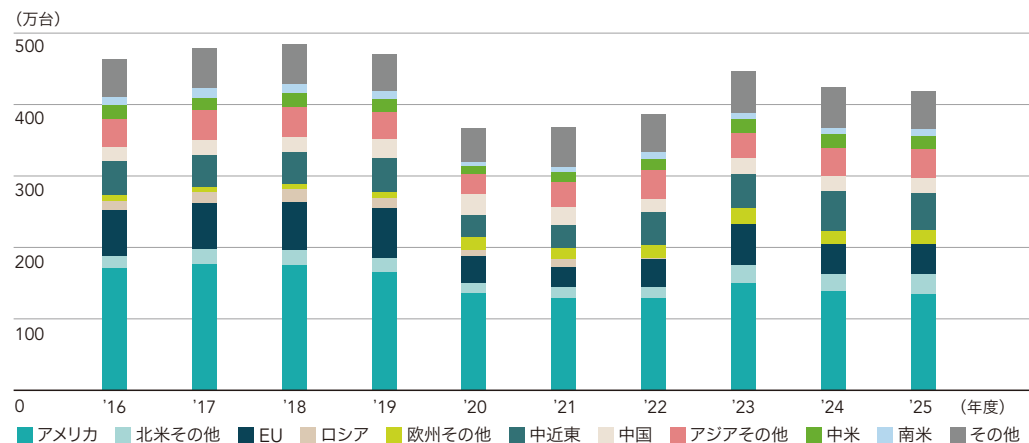
(2026年5月時点)



S&P Global Automotiveデータをもとに当社作成

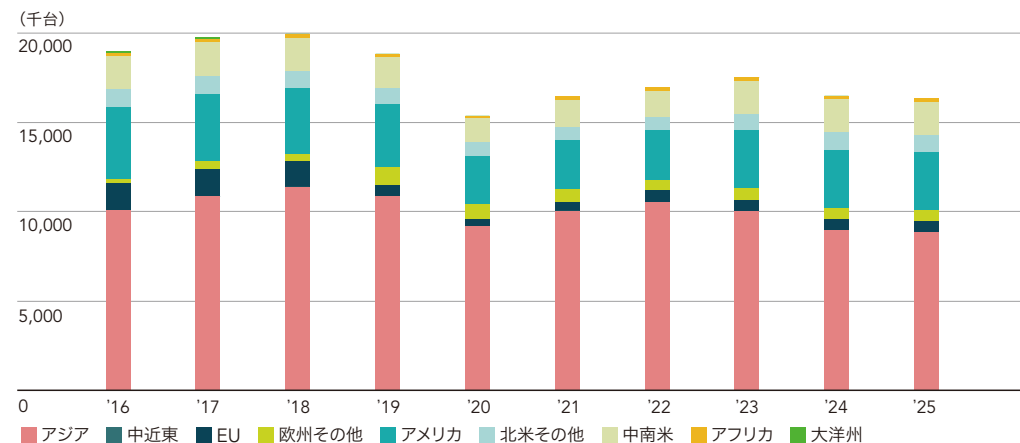
02. 事業別情報 | 自動車船事業

日本積み輸出台数推移(業界全体仕向け地別)



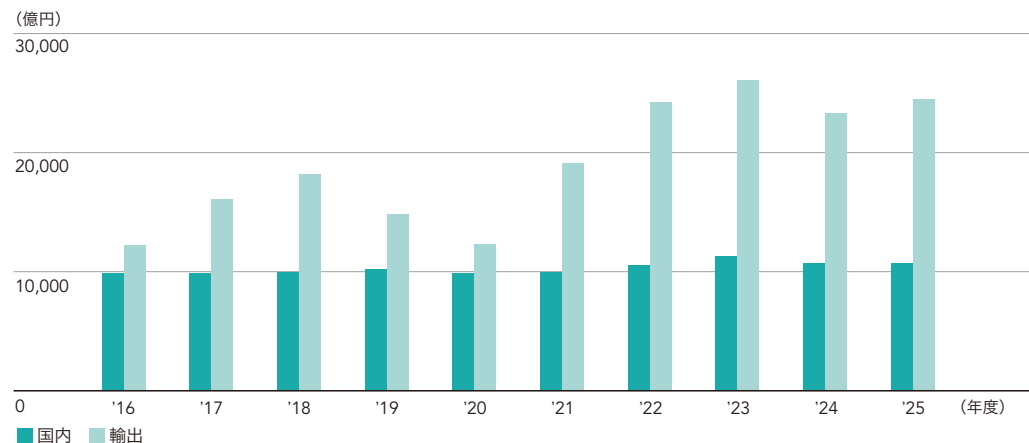
出典：日本自動車工業会

日本メーカー 自動車海外生産台数推移



出典：日本自動車工業会

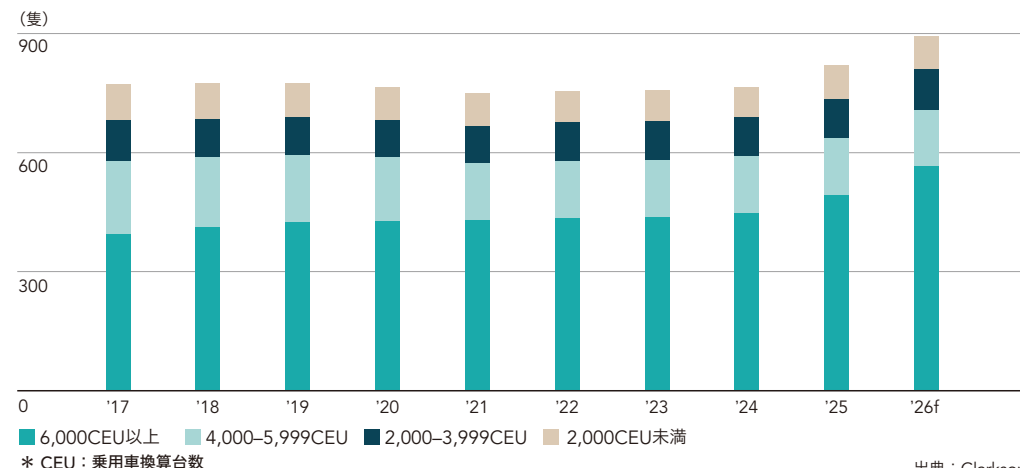
日本メーカー 建設機械出荷額推移



出典：日本建設機械工業会

世界自動車船 サイズ別隻数推移

(2026年5月時点)



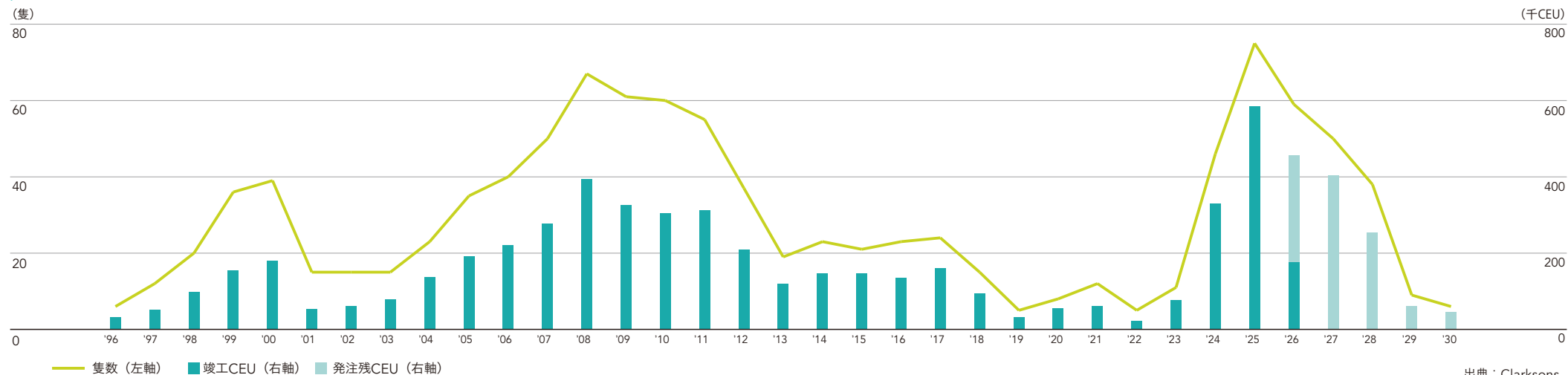
* CEU：乗用車換算台数

出典：Clarksons

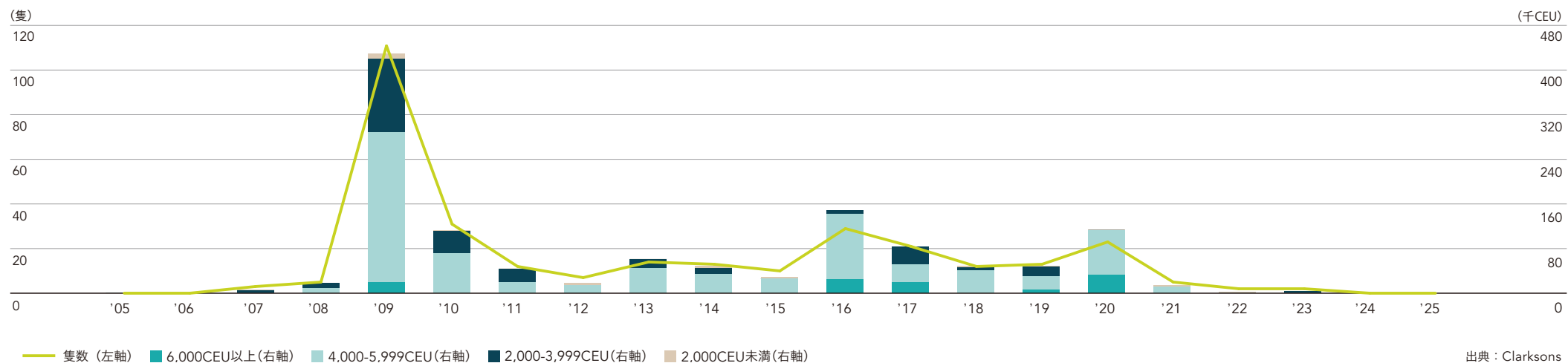
02. 事業別情報 | 自動車船事業

世界の自動車船の竣工・発注残と船隊規模の推移

(2026年5月時点)



世界の自動車船の解撤推移



02. 事業別情報 | コンテナ船事業

コンテナ船 船社ランキング

(2026年5月時点)

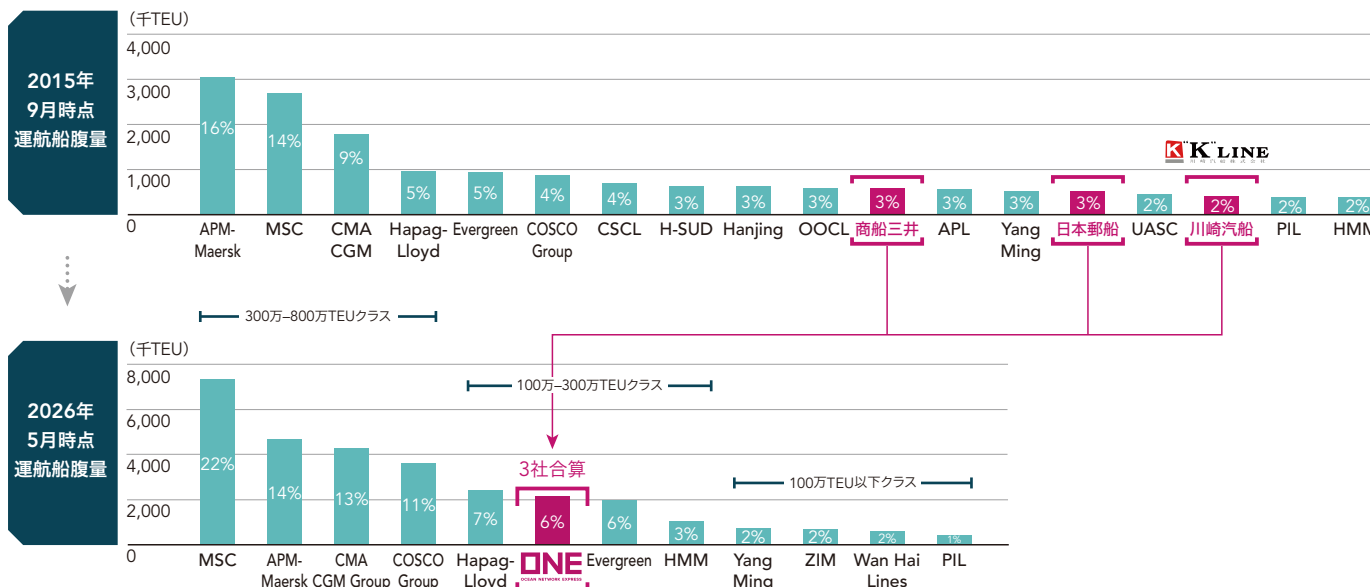
ランキング	会社名	TEU	隻数	シェア
1	MSC	7,318,632	999	21.8%
2	APM-Maersk	4,653,503	736	13.8%
3	CMA CGM Group	4,273,202	723	12.7%
4	COSCO Group	3,593,746	554	10.7%
5	Hapag-Lloyd	2,400,946	291	7.1%
6	ONE	2,134,872	272	6.3%
7	Evergreen	1,973,231	239	5.9%
8	HMM	1,029,773	97	3.1%
9	Yang Ming	741,908	98	2.2%
10	ZIM	698,205	115	2.1%
11	Wan Hai Lines	591,132	120	1.8%
12	PIL	442,216	99	1.3%
	その他	3,790,025	2,377	11.3%
	合計	33,641,391	6,720	100%

各アライアンスメンバー

- Premier Alliance : ONE, HMM, Yang Ming
- OCEAN Alliance : CMA CGM Group, COSCO Group, Evergreen
- Gemini Cooperation : APM-Maersk, Hapag-Lloyd

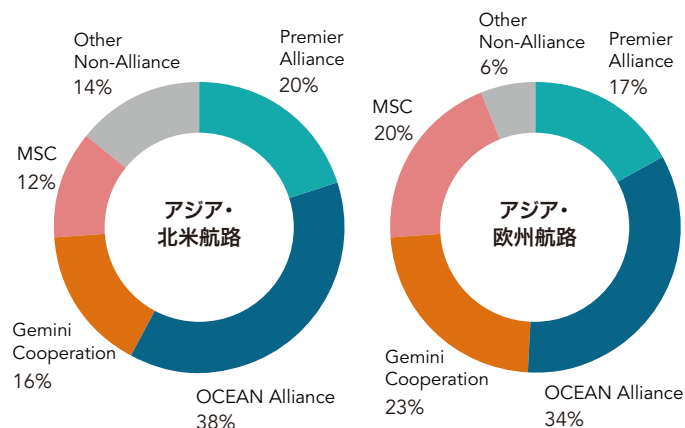
Alphalinerをもとに当社作成

コンテナ船 船社数・規模の変化



Alphalinerをもとに当社作成

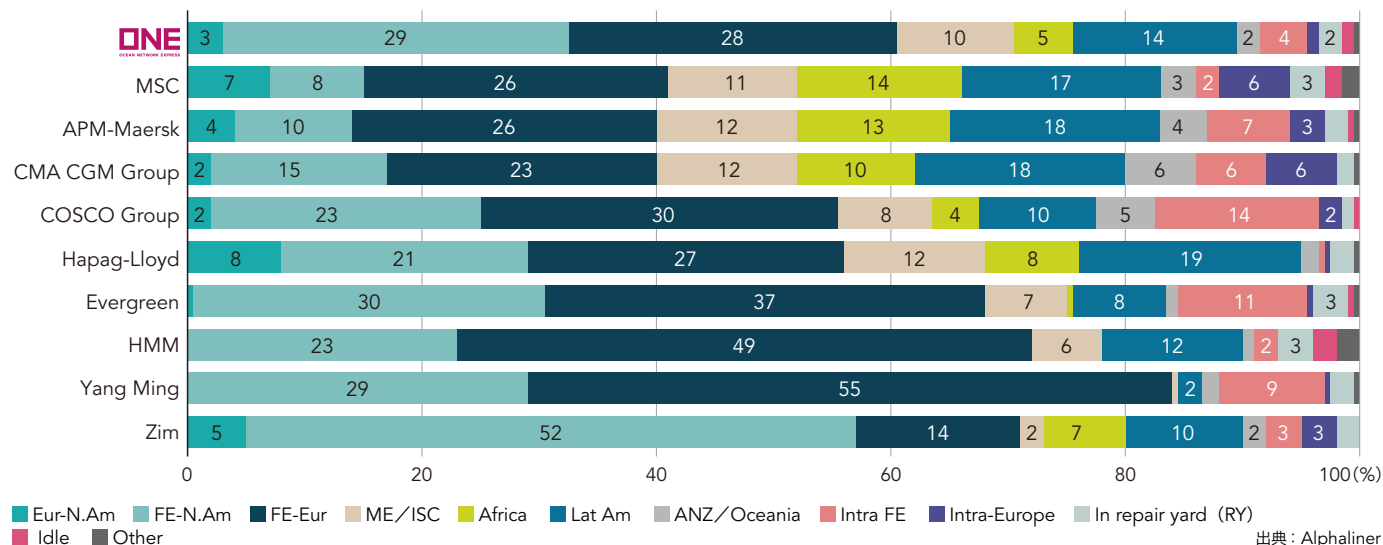
主要アライアンス 航路別投入キャパシティ比率 (2026年5月時点)



出典：Alphaliner

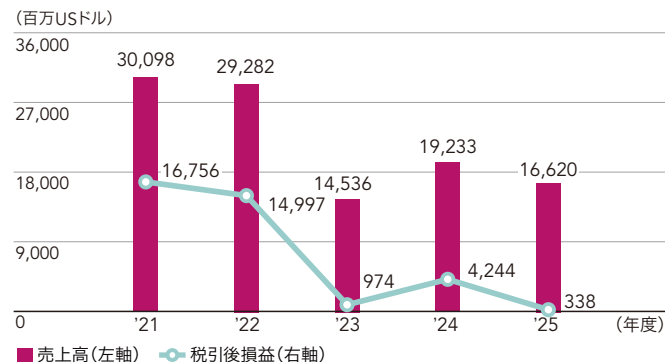
コンテナ船 主要船社 航路別キャパシティ構成

(2026年5月時点)



02. 事業別情報 | コンテナ船事業

OCEAN NETWORK EXPRESS(ONE)業績推移

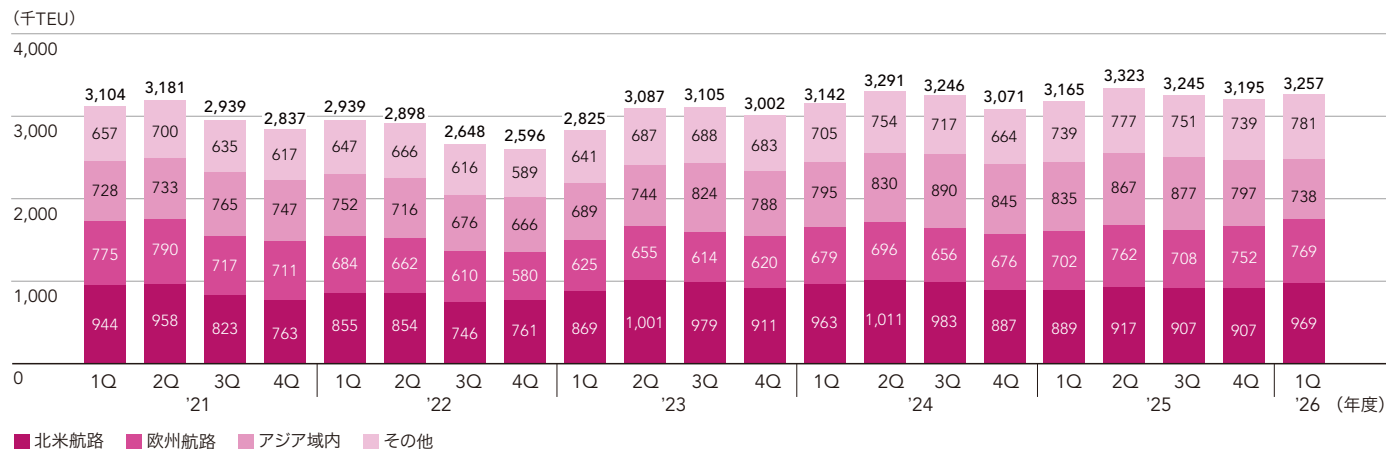


ONE 四半期業績推移

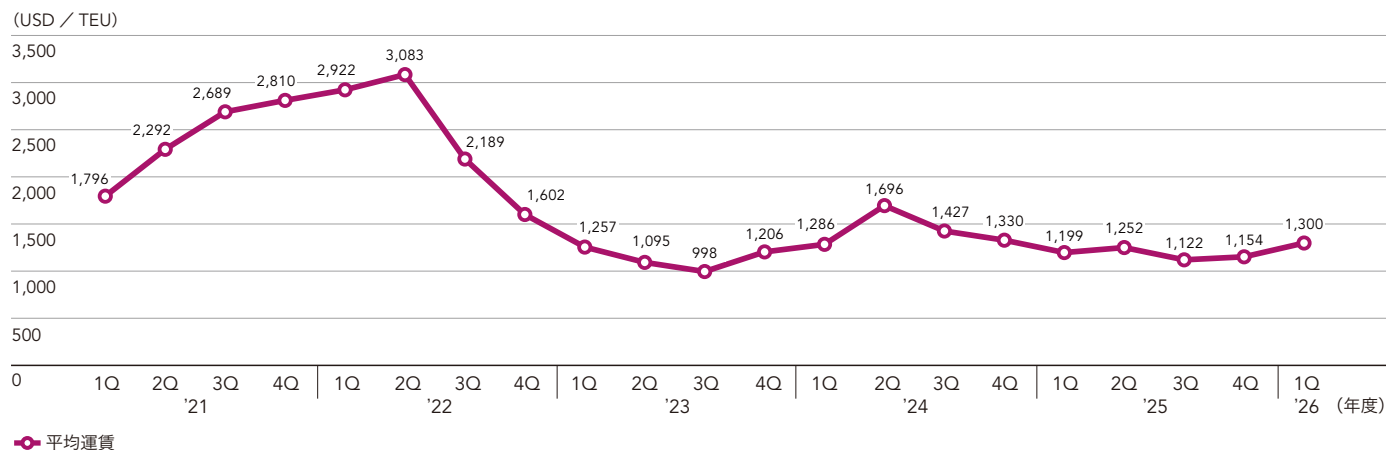
(百万USD)

'21年度	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	5,776	7,557	8,332	8,433	30,098
EBITDA	2,924	4,572	5,286	5,497	18,279
EBIT	2,657	4,295	5,019	5,225	17,196
税引後損益	2,559	4,200	4,889	5,108	16,756
総積高 (千TEU)	3,104	3,181	2,939	2,837	12,061
'22年度	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	9,019	9,367	6,254	4,642	29,282
EBITDA	5,859	5,843	3,060	1,558	16,320
EBIT	5,561	5,528	2,732	1,184	15,005
税引後損益	5,499	5,521	2,768	1,210	14,997
総積高 (千TEU)	2,939	2,898	2,648	2,596	11,081
'23年度	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	3,765	3,549	3,357	3,864	14,536
EBITDA	770	436	170	668	2,044
EBIT	385	31	△ 248	223	392
税引後損益	513	187	△ 83	356	974
総積高 (千TEU)	2,825	3,087	3,105	3,002	12,019
'24年度	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	4,211	5,864	4,846	4,312	19,233
EBITDA	1,217	2,386	1,583	781	5,966
EBIT	667	1,865	1,049	223	3,804
税引後損益	779	1,999	1,156	309	4,244
総積高 (千TEU)	3,142	3,291	3,246	3,071	12,750
'25年度	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	4,049	4,455	4,074	4,042	16,620
EBITDA	616	881	536	719	2,752
EBIT	38	282	△ 84	74	310
税引後損益	86	285	△ 88	55	338
総積高 (千TEU)	3,165	3,323	3,245	3,195	12,927

ONE 航路別積高

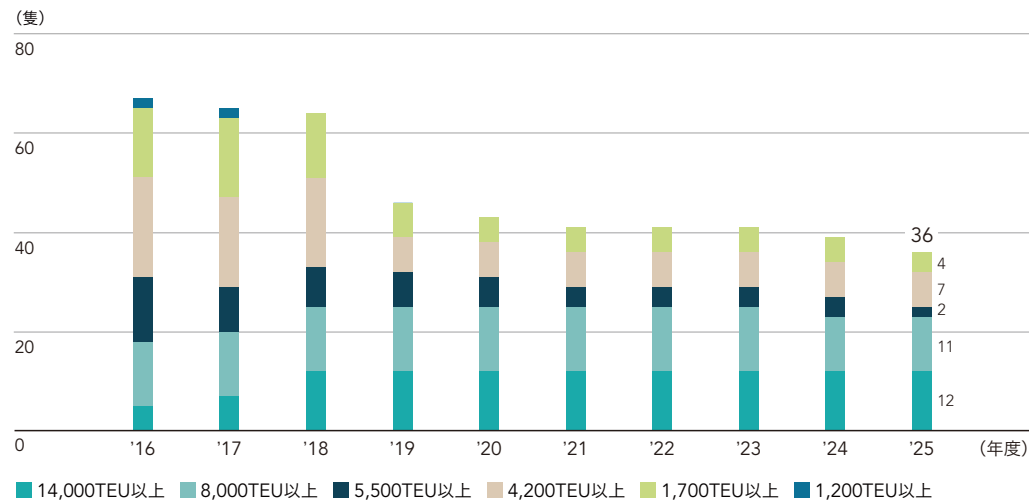


ONE 平均運賃推移

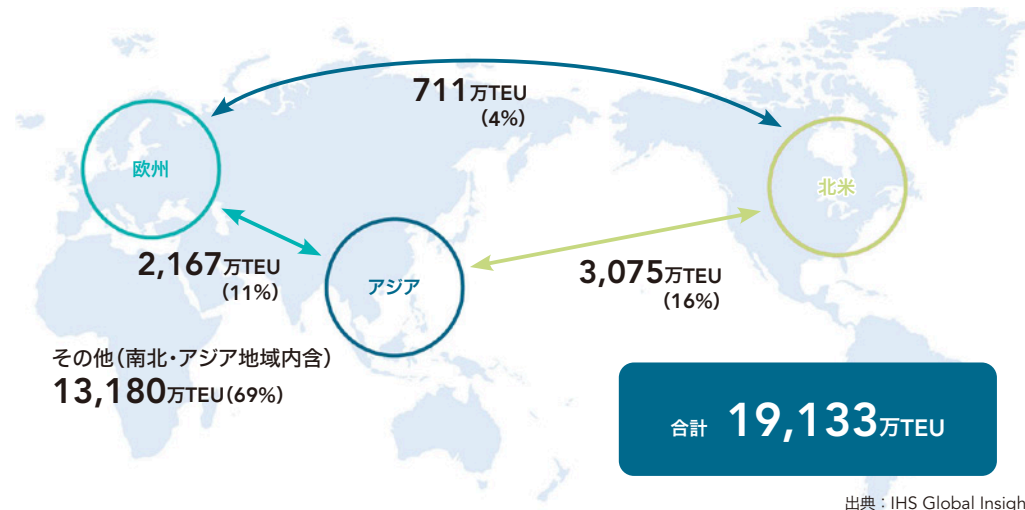


02. 事業別情報 | コンテナ船事業

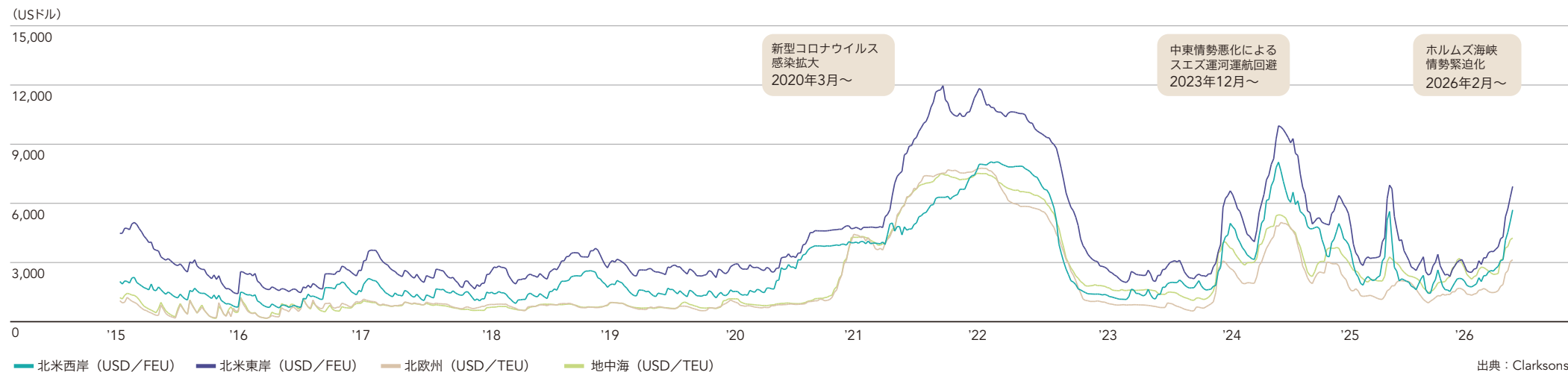
当社コンテナ船 サイズ別船隊推移



世界のコンテナ荷動き(2025年)



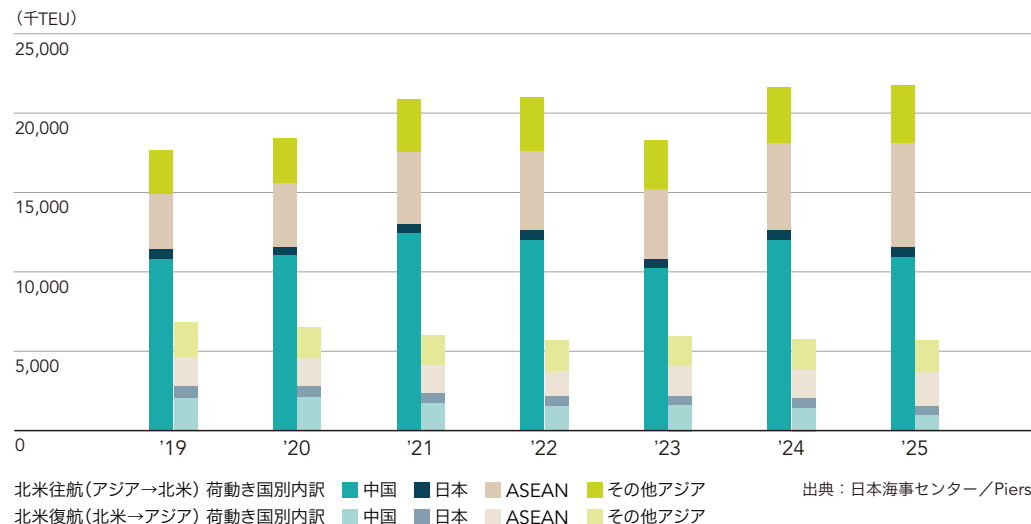
SCFI(上海積みスポット運賃)推移



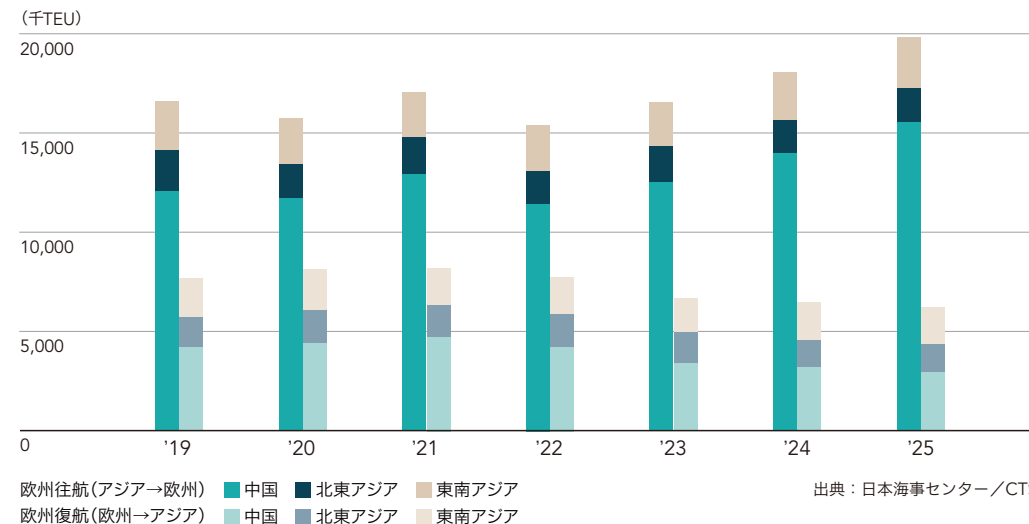
* SCFI : Shanghai Containerized Freight Index

02. 事業別情報 | コンテナ船事業

アジアー北米航路荷動き

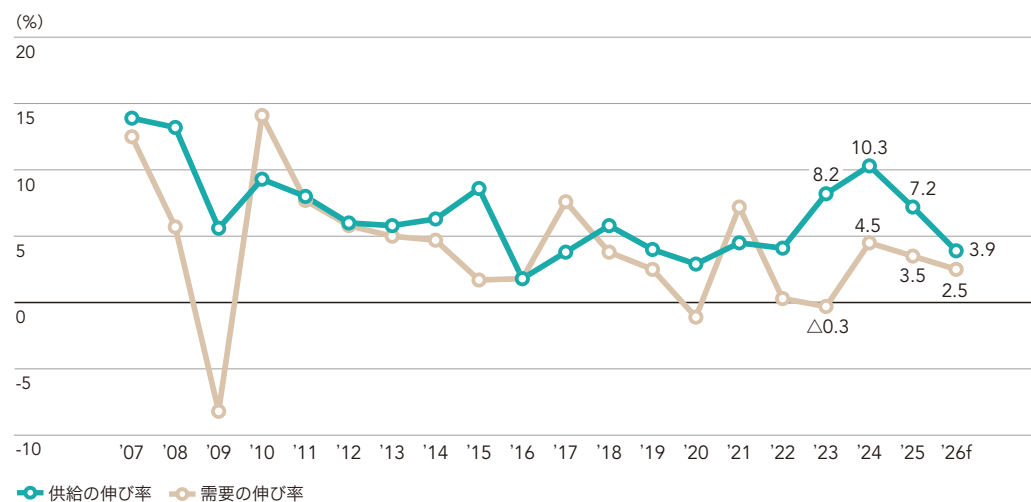


アジアー欧州航路荷動き



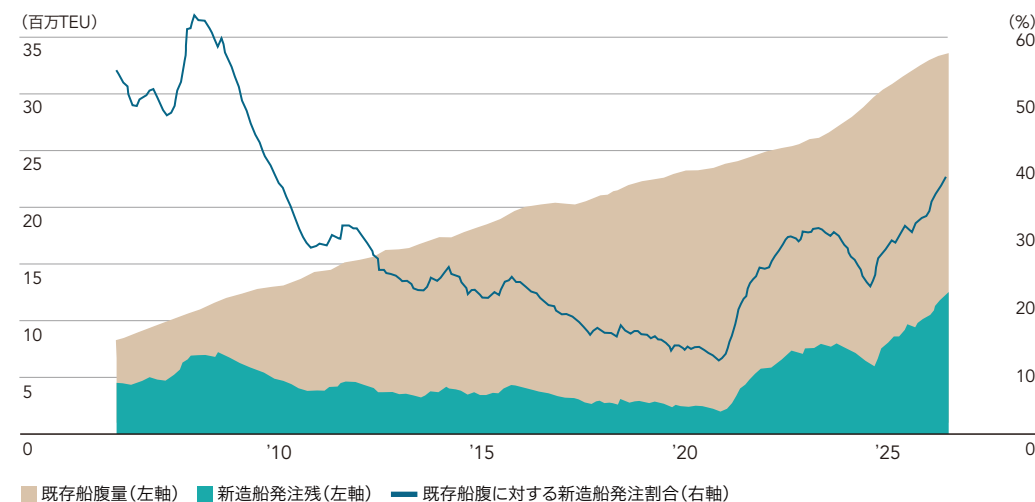
コンテナ船 需要推移

(2026年5月時点)



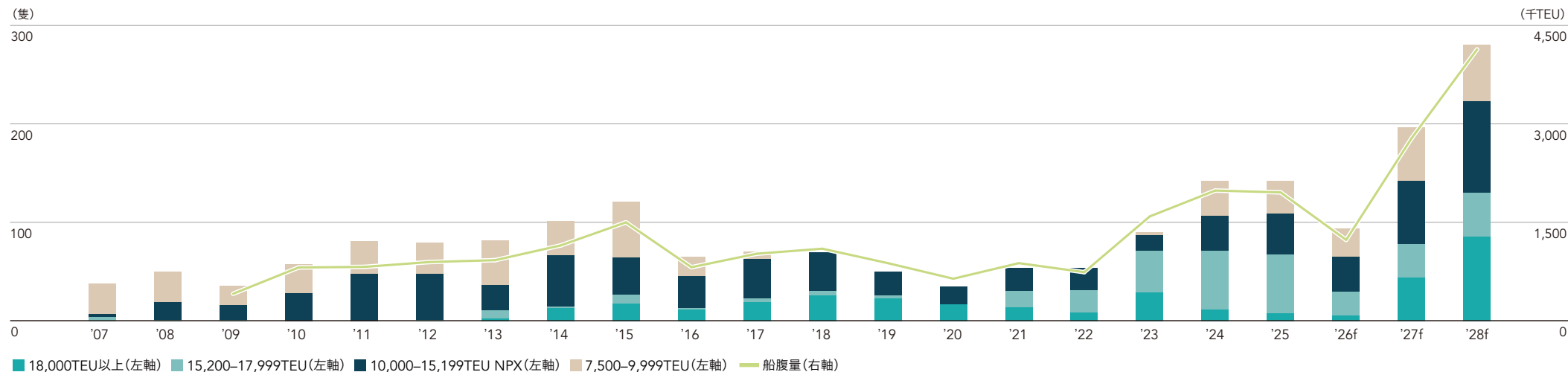
コンテナ船 既存船腹に対する新造船発注割合

(2026年5月時点)



02. 事業別情報 | コンテナ船事業

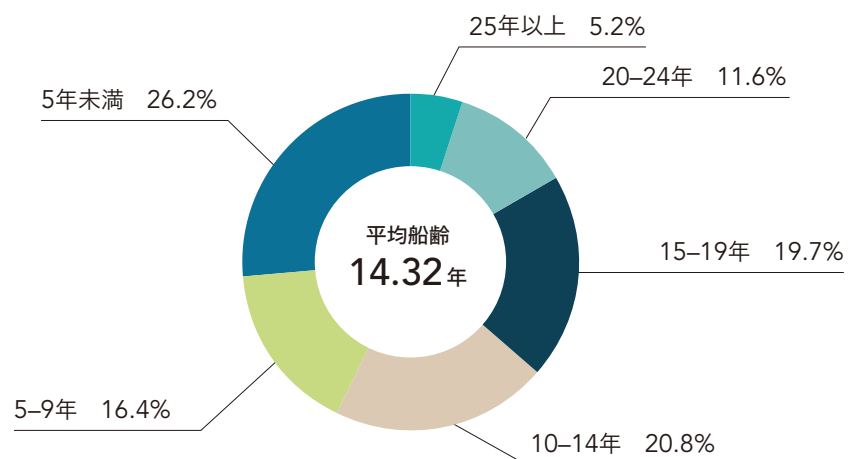
大型コンテナ船 竣工推移



出典：Alphaliner

世界のコンテナ船の船齢構成

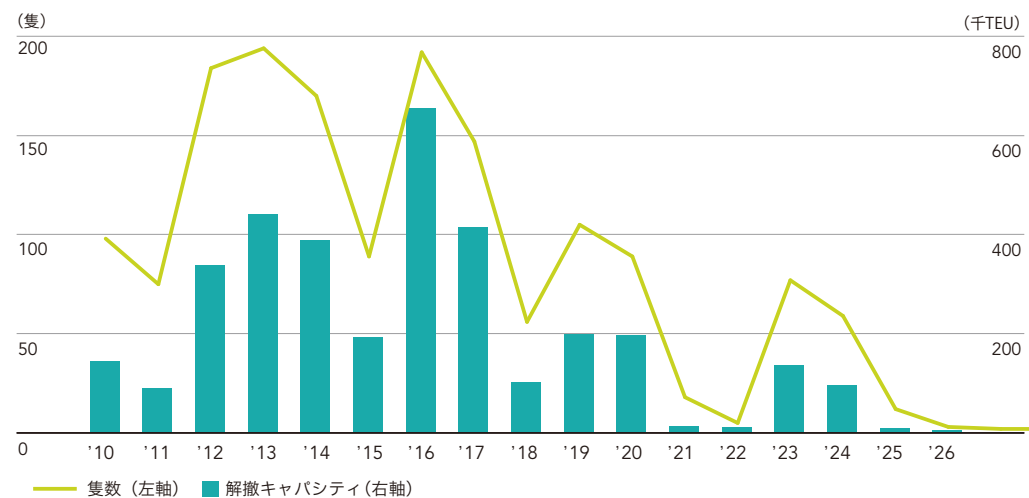
(2026年5月時点)



出典：Alphaliner

世界のコンテナ船の解撤推移

(2026年5月時点)



出典：Clarksons

03. 会社概要／株式情報 | 会社概要／株式情報

会社概要 (2026年6月30日現在)

社名	川崎汽船株式会社
設立	1919年(大正8年)4月5日
資本金	754億5,764万円
社長	五十嵐 武宣(2025年3月28日就任)
従業員数	単体:1,036名(陸員808名、海員228名) 連結:5,907名
事業内容	海上運送業、陸上運送業、航空運送業、海陸空通し運送業、港湾運送業等

事業所

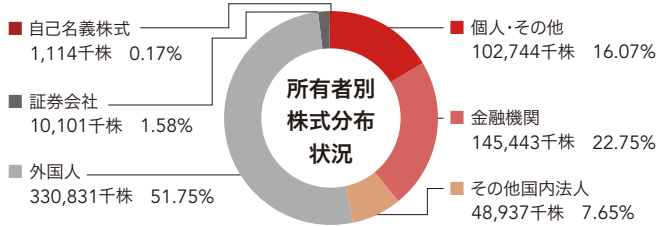
本社	〒100-8540 東京都千代田区内幸町二丁目1番1号(飯野ビルディング) 電話(03) 3595-5000 / FAX(03) 3595-5001
本店	〒650-0024 神戸市中央区海岸通8番(神港ビルヂング) 電話(078) 332-8020 / FAX(078) 393-2676
支店 名古屋	〒450-0001 名古屋市中村区那古野一丁目47番1号(名古屋国際センタービル) 電話(052) 589-4510 / FAX(052) 589-4585
関西	〒650-0024 神戸市中央区海岸通8番(神港ビルヂング) 電話(078) 332-8020 / FAX(078) 393-2676
海外駐在員事務所	台北、マニラ、デュバイ、ドーハ
海外法人	韓国、中国、台湾、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、ベトナム、インド、豪州、英国、ドイツ、ベルギー、フランス、米国、メキシコ、ペルー、チリ、ブラジル、南アフリカ

関係会社
(連結対象)

国内29社 海外257社

株式情報 (2026年3月31日現在)

発行可能株式総数	1,800,000,000株
発行済株式総数	639,172,067株
株主数	191,201名
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
上場証券取引所	東京(プライム市場)
証券コード	9107



当社格付 (2026年3月6日現在)

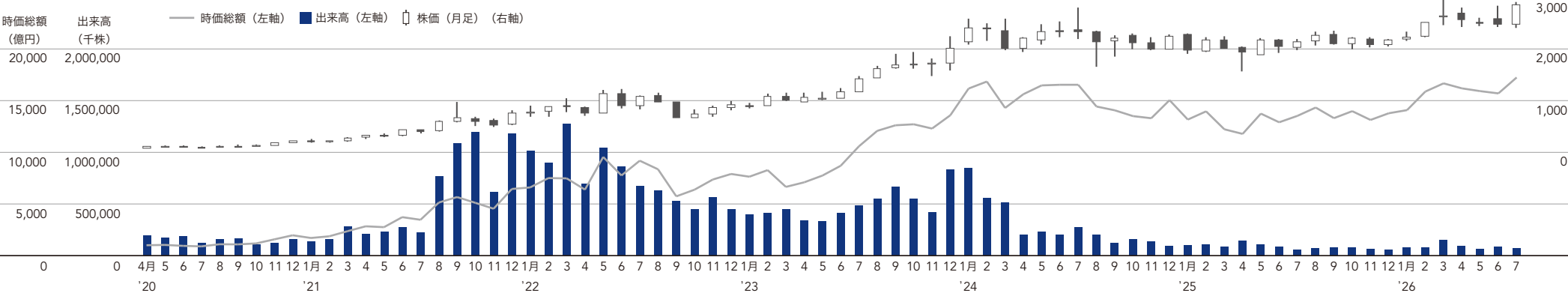
種類	対象	格付(見通し等)	変更日
日本格付研究所(JCR)	長期発行体格付	A(安定的)	2026.03.06
	国内CP格付	コマーシャルペーパー J-1	2023.02.22

大株主 (2026年3月31日現在)

株主名	所有株式数(千株)	割合(%)
イーシーエム エムエフ	80,947	12.68
エムエルアイ フォー セグリゲートイットド ビービー クライアント	62,862	9.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	54,593	8.55
JPMSPCL CLIENT ASSETS SK JPY	31,796	4.98
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	27,375	4.29
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	24,437	3.83
サンテラ(ケイマン)リミテッド アズ トラストィ オブ イーシーエム マスター ファンド	19,716	3.09
今治造船株式会社	16,956	2.65
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	13,777	2.15
株式会社みずほ銀行	12,694	1.98

* 所有株式割合は自己株式(1,114,301株)を控除して計算しています。

時価総額と株価の推移



* 2022年10月1日付および2024年4月1日付の株式分割(普通株式1株につき3株の割合)を考慮し調整しています。

〒100-8540

東京都千代田区内幸町二丁目1番1号（飯野ビルディング）

川崎汽船株式会社

サステナビリティ・環境経営推進・IR・広報グループ

IR・ESG推進チーム

TEL 03-3595-5000

URL：https://www.kline.co.jp

免責事項

本FACTBOOKは投資判断の参考となる情報提供のみを目的とし、当社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
投資に関する決定は、投資家ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

見通しに関する注意事項

本FACTBOOKには将来についての予想や見通しが含まれていますが、これらは当社が現時点で入手可能な情報に基づいており、
経済動向、海運業界需給、燃料価格、為替相場等の動向により変動することをご了承ください。

